



4

DOCKET: CU-2612

IN THE UNITED STATES PATENT & TRADEMARK OFFICE

APPLICANT: Jitsuhiko ANDO et al)
SERIAL NO: 09/921,401) Group Art Unit: 2622
FILING DATE: August 2, 2001) Examiner:
TITLE: IMAGE PRINTING SYSTEM AND IMAGE)
PRINTING APPARATUS)

The Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

SUBMITTAL OF PRIORITY DOCUMENTS

Dear Sir:

Attached herewith is a certified copy of each of the following five Japanese patent applications, for which priority is claimed under 35 USC 119.

<u>Application Number</u>	<u>Filing Date</u>
2000-234831	August 2, 2000
2001-035032	February 13, 2001
2001-048905	February 23, 2001
2001-099030	March 30, 2001
2001-104741	April 3, 2001

Respectfully submitted,


Attorney for Applicant

October 26, 2001

Date

/30

Richard J. Streit, Reg. 25765
c/o Ladas & Parry
224 South Michigan Avenue
Chicago, Illinois 60604
(312) 427-1300



日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 8月 2日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-234831

出 願 人

Applicant(s):

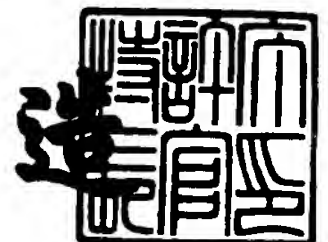
大日本印刷株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 6月26日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3060355

【書類名】 特許願

【整理番号】 D12-0542

【提出日】 平成12年 8月 2日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G03B 27/46

【発明者】

【住所又は居所】 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号 大日本印刷株式会社内

【氏名】 安藤 実彦

【発明者】

【住所又は居所】 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号 大日本印刷株式会社内

【氏名】 大久保 隆幸

【発明者】

【住所又は居所】 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号 大日本印刷株式会社内

【氏名】 柴崎 直司

【特許出願人】

【識別番号】 000002897

【氏名又は名称】 大日本印刷株式会社

【代理人】

【識別番号】 100083839

【弁理士】

【氏名又は名称】 石川 泰男

【電話番号】 03-5443-8461

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 007191

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9004648

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像プリントサービスシステム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 画像データを入力する画像データ入力手段と、出力すべき画像に関する注文内容を入力する注文内容入力手段と、入力された前記画像データと前記注文内容に基づいて、出力すべき画像及び付随する条件を記録した出力内容指示データを生成する出力内容指示データ生成手段と、画像を即時プリントするかバックヤードプリントするかを選択する出力方法選択手段と、前記出力方法選択手段により即時プリントすることを選択した時に、前記出力内容指示データに従って画像のプリント物を即時プリントする即時プリント手段とを備える本体部と、

前記出力方法選択手段によりバックヤードプリントすることを選択した時に、前記出力内容指示データに従って画像のプリント物をバックヤードプリントするバックヤードプリント手段を備えるバックヤードプリント部とを含み、

前記本体部と前記バックヤードプリント部とが回線を介して接続されていることを特徴とする、画像プリントサービスシステム。

【請求項 2】 前記画像データ入力手段は、画像を直接スキャニングする画像読取り機構を含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の画像プリントサービスシステム。

【請求項 3】 前記画像データ入力手段により入力される画像データが、写真画像の画像データを含むことを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の画像プリントサービスシステム。

【請求項 4】 前記本体部と前記バックヤードプリント部とが同一店舗内に設置されていることを特徴とする、請求項 1 乃至 3 いずれかに記載の画像プリントサービスシステム。

【請求項 5】 前記本体部と前記バックヤードプリント部とがネットワークを介して接続されていることを特徴とする、請求項 1 乃至 4 いずれかに記載の画像プリントサービスシステム。

【請求項 6】 前記本体部は、バックヤードプリントされたプリント物を

引き渡すべき顧客を確認できる顧客同一性情報を記載した受付票を顧客に発行する受付票発行手段をさらに備えることを特徴とする、請求項 1 乃至 5 いずれかに記載の画像プリントサービスシステム。

【請求項 7】 前記バックヤードプリント部が、前記受付票に記載した顧客同一性情報の少なくとも一部を記載した照合票をプリントする照合票プリント手段をさらに備えることを特徴とする、請求項 6 に記載の画像プリントサービスシステム。

【請求項 8】 前記本体部は、顧客の個人情報を入力する個人情報入力手段をさらに備えており、前記受付票発行手段は、前記個人情報入力手段により入力された個人情報を含む顧客同一性情報を受付票に記載し、前記照合票プリント手段は、前記個人情報入力手段により入力された個人情報を含む顧客同一性情報を照合票に記載することを特徴とする、請求項 7 に記載の画像プリントサービスシステム。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、例えばデジタルカメラのような撮像装置で撮影した写真画像の画像データを記録メディアから読み込むか或いはスキャナーのような画像読取り装置により写真画像を直接読み込んで出力する、画像プリントサービスシステムに関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

従来、デジタルカメラ等で撮像した画像をプリントアウトするには、銀塩写真フィルムと同様に、撮像した画像を記録した記録媒体をラボに持参してプリント処理してもらうのが一般的であるが、日にちや時間がかかる点で利用者を十分に満足させることができない。

【0 0 0 3】

また、デジタルカメラ等で撮像した画像はデジタルデータで記録されるので、家庭にあるパソコンとプリンターを利用してプリントアウトできる。また、デジ

タルカメラ等で撮像したデジタル画像データを、家庭にあるパソコンを利用してインターネットを経由して最寄りのラボに送信し、ラボでプリント処理を行い、プリント物を受け取りに出向いたり宅配してもらうシステムが提案されている（特開平 1 1 - 1 5 4 2 1 8 号）。

【 0 0 0 4 】

また、デジタルカメラ等で撮像した画像のデジタルデータを読み込んで出力することができ、且つ、店舗内や街頭の一角を占める比較的小さなスペースに設置することができる比較的コンパクトな画像出力装置が提案されている（以下において「ポスト型画像出力装置」という）。例えば、特開平 1 0 - 3 4 1 3 0 3 号には、種類の異なる複数の記録媒体に対応して各種のインターフェースを備え、各種の記録媒体から画像のデジタルデータを読み込んで出力することができるポスト型画像出力装置が記載されている。ポスト型画像出力装置は、顧客が自由に操作して所望の写真画像を即時プリントアウトし、持ち帰ることができる手軽さを備えている。

【 0 0 0 5 】

しかしながら、最近ではデジタルカメラに用いる記録メディアの大容量化が進み、顧客が一回にプリントアウトする枚数が非常に多くなる傾向にある。また、暑中見舞や年賀状に写真を載せる場合のように、同じデザインの印画物を大量にプリントアウトする場合がある。このような場合には、プリントアウトが終了するまでの長い間、顧客をポスト型画像出力装置の前で待たせるばかりでなく、順番待ちしている次の顧客も待ちくたびれてしまう。これではポスト型画像出力装置の手軽さと言う利点が半減する。

【 0 0 0 6 】

また、ポスト型画像出力装置には、できるだけスペースをとらないコンパクトさが求められるので、当該装置のプリンターを設置し得る内部スペースの大きさも制限される。画像出力装置内のスペースが制限されるということは、当該装置に内蔵されるプリンターの数やプリント用紙の種類やプリント用紙の収納量が制限されることにつながる。

【 0 0 0 7 】

このようなプリンターの設置スペースに関する制約は、種々の不都合を招く。例えば、プリント用紙の収納量が少ないと、管理者は頻繁に用紙を補充しなければならない。さらに、大判写真や何分割かされたプリカットシールタイプの写真等の特殊な印刷に広く対応するためには、機能の異なる多数のプリンター或いは特性やサイズの異なる多数のプリント用紙を用意する必要があるが、ポスト型画像出力装置内の限られたスペースに多数のプリンター或いは多種類のプリント用紙を収納するのは不可能なので、ある顧客が特殊な印刷を要求している場合に、その要求を十分に満足させることができない。

【 0 0 0 8 】

【発明が解決しようとする課題】

本発明は、上記の問題点に鑑みて成し遂げられたものであり、顧客が直接操作して、すぐに写真画像を出力させて持ち帰ることができる画像出力装置の手軽さを損なうことなく、そのプリント性能（例えば、待ち時間、特殊印刷への対応、管理者の作業頻度など）の不足を補うことのできる画像プリントサービスシステムを提供することにある。

【 0 0 0 9 】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するための本請求項 1 に係る発明は、画像データを入力する画像データ入力手段と、出力すべき画像に関する注文内容を入力する注文内容入力手段と、入力された前記画像データと前記注文内容に基づいて、出力すべき画像及び付随する条件を記録した出力内容指示データを生成する出力内容指示データ生成手段と、画像を即時プリントするかバックヤードプリントするかを選択する出力方法選択手段と、前記出力方法選択手段により即時プリントすることを選択した時に、前記出力内容指示データに従って画像のプリント物を即時プリントする即時プリント手段とを備える本体部と、

前記出力方法選択手段によりバックヤードプリントすることを選択した時に、前記出力内容指示データに従って画像のプリント物をバックヤードプリントするバックヤードプリント手段を備えるバックヤードプリント部とを含み、

前記本体部と前記バックヤードプリント部とが回線を介して接続されているこ

とを特徴とする、画像プリントサービスシステムである。

【 0 0 1 0 】

上記請求項 1 に係る画像プリントサービスシステムによれば、注文頻度が比較的多い種類のプリント物は本体部に備えられた即時プリント手段でプリントアウトして顧客に納品することができる。例えば、デジタルカメラで撮影しデジタルデータの形で記録メディアに記録した画像を、一画像につき 1 枚ずつ或いは 2 ～ 3 枚ずつ出力するような場合や、プリカットシールを 1 枚だけ出力するような場合には、即時プリント手段 1 1 でプリントアウトするほうが手軽である。

【 0 0 1 1 】

一方、大判プリントのように即時プリント手段では対応できないプリント物、又は、同じデザインの年賀状を大量印刷する場合のように即時プリント手段でも対応できるが能率の悪いプリント物の注文は、顧客の選択により又は画像プリントサービスシステムの管理者による設定によりバックヤードプリント部に回してプリントアウトし、顧客に納品することができる。従って、本体部が有するポスト型画像出力装置としての手軽さを損なうことなく、バックヤードプリント部によってプリント性能の不足を補うことができる。

【 0 0 1 2 】

本請求項 2 に係る発明は、前記画像データ入力手段が、画像を直接スキャニングする画像読取り機構を含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の画像プリントサービスシステムである。本請求項 2 に係る発明によれば、デジタルカメラで撮影したり或いはコンピュータグラフィックスで作成したデジタル画像データだけでなく、プリントアウトされた画像を読み取りデータ化して入力することが可能である。

【 0 0 1 3 】

本請求項 3 に係る発明は、前記画像データ入力手段により入力される画像データが、写真画像の画像データを含むことを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の画像プリントサービスシステムである。本請求項 3 に係る発明によれば、デジタルカメラで撮影し記録メディアに保存した画像データやプリントされた写真等の画像を、手軽に効率よくプリントアウトできる。

【 0 0 1 4 】

本請求項 4 に係る発明は、前記本体部と前記バックヤードプリント部とが同一店舗内に設置されていることを特徴とする、請求項 1 乃至 3 いずれかに記載の画像プリントサービスシステムである。本請求項 4 に係る発明によれば、本体部 1 とバックヤードプリント部 2 とを同一店舗内に設置し、本体部 1 により対応するのが不可能又は能率の悪い注文を、本体部 1 の近くに設置したバックヤードプリント部 2 に引き受けさせるので、ポスト型画像出力装置の手軽さを最大限に生かすことができる。

【 0 0 1 5 】

本請求項 5 に係る発明は、前記本体部と前記バックヤードプリント部とがネットワークを介して接続されていることを特徴とする、請求項 1 乃至 4 いずれかに記載の画像プリントサービスシステムである。本請求項 5 に係る発明によれば、顧客は、プリントの注文とプリント物の受け取りを全く離れた場所で行うことができ、便利である。

【 0 0 1 6 】

本請求項 6 に係る発明は、前記本体部は、バックヤードプリントされたプリント物を引き渡すべき顧客を確認できる顧客同一性情報を記載した受付票を顧客に発行する受付票発行手段をさらに備えることを特徴とする、請求項 1 乃至 5 いずれかに記載の画像プリントサービスシステムである。本請求項 6 に係る発明によれば、画像プリントサービスシステムの供給者は、バックヤードプリントされたプリント物を、注文した顧客に確実に納品することができる。

【 0 0 1 7 】

本請求項 7 に係る発明は、前記バックヤードプリント部が、前記受付票に記載した顧客同一性情報の少なくとも一部を記載した照合票をプリントする照合票プリント手段をさらに備えることを特徴とする、請求項 6 に記載の画像プリントサービスシステムである。本請求項 7 に係る発明によれば、顧客側控えである受付票と店舗側控えである照合票の記載内容を照合することによって、画像プリントサービスシステムの供給者は、プリント物を受け取りに来た顧客の同一性を非常に容易に確認することができる。

【 0 0 1 8 】

本請求項 8 に係る発明は、前記本体部は、顧客の個人情報を入力する個人情報入力手段をさらに備えており、前記受付票発行手段は、前記個人情報入力手段により入力された個人情報を含む顧客同一性情報を受付票に記載し、前記照合票プリント手段は、前記個人情報入力手段により入力された個人情報を含む顧客同一性情報を照合票に記載することを特徴とする、請求項 7 に記載の画像プリントサービスシステムである。本請求項 8 に係る発明によれば、顧客側から提供されなければ知ることができない個人情報を顧客同一性情報に含め、受付票及び照合票に記載することによって、画像プリントサービスシステムの供給者は、プリント物を受け取りに来た顧客の同一性を一層確実に確認することができる。

【 0 0 1 9 】

【発明の実施の形態】

先ず、本発明の概要について図 1 を参照して説明する。本発明の画像プリントサービスシステムは、画像のプリント（出力）依頼を受け付けて即時プリントを行うことのできる本体部 1 と、出力すべき画像のデータを本体部から受け取ってバックヤードプリントを行うことのできるバックヤードプリント部 2 を含んでおり、前記本体部 1 と前記バックヤードプリント部 2 とが、回線 3 を介して接続されている。回線 3 は、LAN、イントラネット、インターネットのような様々な規模の専用的な又は開放的なネットワーク回線でも良いし、一つの本体部と一つのバックヤードプリント部を単純に接続する一本の回線でも良い。なお、図 1 の例では、本体部 1 と前記バックヤードプリント部 2 は、それぞれ別々の筐体に収納され物理的に分離した装置を構成しており、同一店舗内の違う場所（例えば、本体部 1 は店舗の入り口付近、バックヤードプリント部 2 は店舗奥の支払いカウンター横）に設置され、LAN により接続されている。

【 0 0 2 0 】

本体部 1 は、少なくとも次の各手段、すなわち、

- (1) 画像データを入力する画像データ入力手段、
- (2) 出力すべき画像に関する注文内容を入力する注文内容入力手段、
- (3) 入力された前記画像データと前記注文内容に基づいて、出力すべき画像及

び付随する条件を記録した出力内容指示データを生成する出力内容指示データ生成手段、

(4) 画像を即時プリントするかバックヤードプリントするかを選択する出力方法選択手段、及び、

(5) 前記出力方法選択手段により即時プリントすることを選択した時に、前記出力内容指示データに従って画像のプリント物を即時プリントする即時プリント手段、とを備えている。

【0021】

一方、バックヤードプリント部2は、前記本体部1の出力方法選択手段によりバックヤードプリントすることを選択した時に、前記出力内容指示データに従って画像のプリント物をバックヤードプリントするバックヤードプリント手段を少なくとも備えている。

【0022】

本発明の画像プリントサービスシステムを利用して所望の画像をプリントするには、先ず、写真画像を記録した画像データを、画像データ入力手段4を用いて本体部1に入力する。入力されるべき画像データは、主に、デジタルカメラ等で撮影し、何らかの記録メディアにデジタルデータ化して記録された写真画像であるが、それに限定されない。例えば、パソコンで作成したコンピュータグラフィックスの画像や、写真をパソコンで編集処理した合成画像などのデジタル画像データでもよいし、すでにプリント物となっている写真画像、合成画像、コンピュータグラフィックスの画像、手書きのイラストであってもよい。

【0023】

画像データ入力手段4としては、例えば、コンパクトフラッシュメモリ(CF)、スマートメディア、コンパクトディスク(CD)、光磁気ディスク(MO)、フロッピーディスク(FD)、PCカード等の各記録メディアに対応する各読み取り機や、デジタルカメラに接続して当該デジタルカメラのメモリーから画像データを読み取ることのできるコネクタを用いることができる。画像データ入力手段4としては、ハードコピーやフィルム或いはその他のプリント物から画像を読み取ってデジタルデータに変換できるスキャナ等の読み出し装置を用いてもよ

い。画像データ入力手段4に記録メディアの読取装置と共に、画像を直接スキャニングできる画像読取装置を含めることにより、デジタル画像データを持っていない場合でも本発明の画像プリントサービスシステムを利用することができるようになり、例えば、ネガフィルムを紛失してしまった場合にはプリント物の写真から手軽に焼き増しすることができる。本発明の画像プリントサービスシステムの汎用性を高めるために、画像データ入力手段4には種類の異なる複数の読み出し装置を含めるのが好ましい。

【 0 0 2 4 】

次に、出力すべき画像に関する注文内容を、注文内容入力手段6を用いて本体部1に入力する。注文内容は、画像プリントサービスシステム側で予め用意されており、用意されたなかから顧客が自由に選択することができる。図示していない表示手段により選択可能な注文内容を顧客に提示し、注文内容の入力操作を案内するのが好ましい。表示手段としては、C R Tや液晶パネル等が一般的であるが、操作方法を簡条書きした掲示板のように、もっと単純なものであってもよい。

【 0 0 2 5 】

注文内容の選択肢としては、例えば、入力された複数コマ分の画像データのうち何コマ目の画像をプリントするかの特定、プリント枚数やサイズの決定、プリカットシール等の特殊印刷を行うか否かの決定、本プリントシステムが入力画像をトリミング、拡大／縮小、フレームとの合成などの加工することができる手段ないし機能を備えている場合にはフレームの種類やレイアウト等のデザインその他の素材を用意しておくことができる。

【 0 0 2 6 】

注文内容入力手段6としては、例えば、C R Tや液晶パネル等の表示手段と一体化されたタッチパネルや、キーボード、マウスやトラックボールのような各種ポインタを用いることができる。また、デジタルカメラが備えるD P O F機能（Digital Print Order Format）を用いてもよい。

【 0 0 2 7 】

画像データ5と注文内容7が入力されると、本体部1内において出力内容指示

データ生成手段 8 が実行される。その結果、画像データ 5 と注文内容 7 に基づいて、出力すべき画像及び付随する条件を記録した出力内容指示データ 9 が生成する。出力内容指示データとは、入力された画像データのうち出力したい画像を特定するデータ或いは入力された画像データを元に加工された画像のデータのように出力すべき画像を再生するためのデータと、プリント枚数、サイズ、用紙の種類などのように出力すべき画像データ以外の注文内容のデータからなり、注文通りにプリント物を出力するために後述する即時プリント手段またはバックヤードプリント手段に指示する必要がある内容を記録したデータをいう。

【 0 0 2 8 】

上記出力内容指示データ生成手段 8 の実行により出力内容指示データ 9 が生成すると、当該出力内容指示データ 9 に基づいて本体部 1 に備えられた即時プリント手段 1 1 又は本体部 1 に接続されたバックヤードプリント手段 1 2 を実行させることにより、画像のプリント物を出力させることができる。

【 0 0 2 9 】

本発明の画像プリントサービスシステムにおいては、本体部 1 が出力方法選択手段 1 0 を備えており、顧客が、或いは、画像プリントサービスシステムの所有者又は管理者が、出力方法選択手段 1 0 を用いて即時プリント手段 1 1 又はバックヤードプリント手段 1 2 を自由に選び、選んだ方の出力手段にプリント物を出力させることができる。

【 0 0 3 0 】

本発明においては、注文頻度が比較的多いプリント物、例えば、標準サイズの写真やプリカットシールを、本体部 1 に備えられた即時プリント手段 1 1 でプリントアウトして顧客に納品できるように設定しておく。このような注文頻度が多いプリント物を比較的小さい枚数だけ出力する場合には、即時プリント手段 1 1 でプリントアウトした方が手軽である。例えば、デジタルカメラで撮影しデジタルデータの形で記録メディアに記録した画像を、一画像につき 1 枚ずつ或いは 2 ～ 3 枚ずつ出力するような場合や、プリカットシールを 1 枚だけ出力するような場合には、即時プリント手段 1 1 でプリントアウトするほうが手軽である。

【 0 0 3 1 】

一方、即時プリント手段 1 1 では対応できない特殊なプリントや、即時プリント手段 1 1 でも対応できるが能率の悪いプリント物の注文は、バックヤードプリント手段 1 2 でプリントアウトして顧客に納品できるように設定しておく。例えば、バックヤードプリント手段 1 2 には、大判プリントや、マグカップやTシャツへのプリント等の特殊なプリントが可能な印刷装置を設置したり、或いは、年賀状や暑中見舞のハガキのように同じ画像を大量に連続印刷するのに適した高速プリンターを設置することができる。

【 0 0 3 2 】

本発明においては、典型的には、顧客側が出力方法選択手段 1 0 を用いて即時プリント手段 1 1 又はバックヤードプリント手段 1 2 を自由に選ぶことができる。顧客に出力方法選択手段 1 0 を使わせる場合、例えば、図示していない C R T や液晶パネル等の表示手段に「即時プリント出力を行うか?」「バックヤードプリントを行うか?」などを表示して顧客に出力手段の選択肢を提示し、タッチパネル等の注文内容入力手段と共通の入力手段や専用の選択ボタンのような専用の入力手段を顧客に操作させて選択肢を決定し入力する。

【 0 0 3 3 】

顧客は、プリント枚数が多くてプリントアウトの待ち時間が長い場合や注文だけ済ませて一刻も早く帰りたい場合などのように、即時プリント手段を実行させるのに不都合を感じる場合には、バックヤードプリントを選択することができる。バックヤードプリント部が同一店舗内にある場合には、顧客は、バックヤードプリントが終了するまで店舗内で待ってもよいし、一旦帰って出直してもよい。また、顧客が大判プリント或いはマグカップやTシャツへのプリント等の特殊なプリントを注文した場合には、顧客の意志に拘わらず、出力方法選択手段 1 0 は自動的にバックヤードプリントを選択する。顧客の立場では通常であれば即時プリントを行うのが最も手軽であるが、枚数が多い場合にはバックヤードプリントさせる方が待ち時間を短縮できたり、一旦帰って都合の良い時に直出することができるので、便利である。さらに、即時プリント手段では対応できない特殊なプリントが欲しい場合にはバックヤードプリントに回せば入手できるので、便利である。

【 0 0 3 4 】

一方、画像プリントサービスシステムの所有者又は管理者が出力方法選択手段 1 0 を使う場合、例えば、管理者のみが操作可能な管理モードで即時プリント手段とバックヤードプリントのどちらを選択するかの分岐条件を設定しておき、顧客の注文内容に応じて出力方法選択手段 1 0 が自動的にどちらかの出力手段に注文を振り分けるようにするとか、同じく管理モードで即時プリント手段又はバックヤードプリントのどちらかに固定し、出力方法選択手段 1 0 が決められた方の出力手段だけにプリントを実行させるようにすることができる。

【 0 0 3 5 】

注文を即時プリント手段かバックヤードプリントに振り分けるための分岐条件としては、例えば、プリント枚数、時間帯、要望されているプリントの種類等を設定することができる。より具体的には、プリント枚数が一定以上の場合とか、顧客の来店が多い時間とか、大判プリント等の特殊なプリント物が注文された場合に、自動的にバックヤードプリントが選択されるように出力方法選択手段 1 0 を設定することができる。また、本体部 1 とバックヤードプリント部 2 が同一店舗に設置されている場合には、一定のプリント枚数を分岐条件にして即時プリント手段かバックヤードプリント手段のいずれかに注文を振り分けることにより、顧客は待ち時間の少ない方の出力手段に自動的に誘導されるので、顧客にとっても便利である。また、本体部 1 の即時プリント手段が故障している場合であっても、出力方法選択手段 1 0 がバックヤードプリントだけに出力を実行させるように設定しておくことにより、本体部 1 を稼働させることができる。

【 0 0 3 6 】

以上のようにして顧客が通常の操作モードで入力した選択肢又はシステムの管理者が管理モードで入力した選択肢に従って出力方法選択手段 1 0 が実行されると即時プリントまたはバックヤードプリントのいずれかが選択される。出力方法選択手段 1 0 により即時プリントすることを選択した時には、即時プリント手段 1 1 が実行され、上記出力内容指示データ 9 の内容にしたがって画像のプリント物が即時プリントされる。一方、出力方法選択手段 1 0 によりバックヤードプリントすることを選択した時には、バックヤードプリント手段 1 2 が実行され、上

記出力内容指示データ 9 の内容にしたがって画像のプリント物がバックヤードプリントされる。なお、出力方法選択手段 1 0 は、注文内容入力手段の後に実行させるのが好ましい。注文内容が出揃った後でないと、即時プリントとバックヤードプリントのどちらが適切なのかが正確に判断しにくいからである。

【 0 0 3 7 】

即時プリント手段 1 1 としては、ポスト型画像出力装置の手軽さを最大限に発揮できる即時性と、ポスト型画像出力装置の筐体内で実行できるコンパクト性を考慮し、注文される頻度が最も多いプリント物に対応して設定されたプリンターを設置する。ポスト型画像出力装置の筐体内に即時プリント手段を 2 機以上設置するスペースがある場合には、やはりポスト型画像出力装置の手軽さを最大限に発揮できるように、例えば、プリカットシールのプリント物に対応して設定されたプリンターなどを増設するのが好ましい。

【 0 0 3 8 】

一方、バックヤードプリント手段 1 2 としては、ポスト型画像出力装置の筐体内に設置した即時プリント手段 1 1 では実行しきれない注文に対応できるように、各種のプリンターを設置することができる。例えば、プリント枚数が多い場合に対応できるように高速プリンターやポスト型画像出力装置の筐体内に設置されているのと同じプリンターを増設することができる。或いは、大判サイズのプリント物や、マグカップやTシャツ等のプリント物等の特殊なプリント物が求められた場合に対応できるように専用プリンターを設置することができる。バックヤードプリント手段 1 2 は、ポスト型画像出力装置の筐体の外部に設置できるので、比較的サイズの大きいプリンターを用いることができ、複数のプリンターを増設することも比較的容易である。

【 0 0 3 9 】

なお、ポスト型画像出力装置の筐体が多い場合には、即時プリント手段 1 1 と共にバックヤードプリント手段 1 2 も同じ筐体内に設置してもよい。この場合、即時プリント手段 1 1 のプリント物放出口は本体部の正面側に形成し、バックヤードプリント手段 1 2 のプリント物放出口は本体部の側面側に形成することにより、バックヤードプリントを選択した顧客を本体部の側面側へと移動させるこ

とができるので、次の顧客が直ちに本体部を利用することができ、本体部の筐体外にバックヤードプリント手段 1 2 を設置する場合と同様の効果が得られる。

【 0 0 4 0 】

即時プリント手段 1 1 及びバックヤードプリント手段 1 2 の具体的な出力方法としては、例えば、昇華型熱転写法、溶融型熱転写法、インクジェット等のように、デジタル化された画像データに基づいてプリントを行うのに適した出力方法を利用することができる。

【 0 0 4 1 】

本発明の画像プリントサービスシステムの本体部 1 には、画像を出力し提供するための対価を徴収するために、図示していない課金手段を設けてもよい。課金手段を設ける場合には、注文内容入力手段を実行した後、より好ましくは出力方法選択手段を実行した後であり、且つ、即時プリント手段又はバックヤードプリント手段の実行によりプリント物を出力する前に、課金手段を実行する。課金手段により徴収すべき金額は、図示していない表示手段に注文内容と併せて表示し顧客に提示するのが好ましい。顧客が表示手段による金額表示に案内されて課金手段に紙幣及び／又は硬貨を投入すると、課金手段は受け入れた金額を計算し、おつりを必要とする場合にはその分を返却する。課金手段にはレシート発行手段が付随していてもよく、当該レシート発行手段は、課金手段による手数料の徴収が完了した後、徴収金額や注文内容を印刷したレシートを自動発行する。レシート発行手段は、利用者がレシートを必要としない場合に、レシート発行を省略することを選択できるレシート発行省略手段を備えていてもよい。その場合には、手数料の徴収が完了した後、図示していない表示手段に「レシートを発行しますか？」などの操作案内を表示し、発行する又はしない旨の選択肢を実行するために対応するタッチパネルボタンやキーボードを利用者に押させる。

【 0 0 4 2 】

さらに本発明の画像プリントサービスシステムの本体部 1 には、出力方法選択手段によりバックヤードプリントが選択された場合に、バックヤードプリントされたプリント物を引き渡すべき顧客を確認するために、図示していない受付票（顧客側控え）発行手段を設けても良い。受付票には、注文した人物とプリント物

を受け取りに来た人物との同一性を確認することのできる情報（顧客同一性情報）を記載する。顧客同一性情報としては、例えば、受付番号、受付時間、注文されたプリントメニュー、注文コマ数、注文枚数、氏名、電話番号等を例示できる。受付票には、顧客同一性情報と共に、引き渡しの場所や時間を明示するのが好ましい。受付票には、例えば、顧客の氏名、顧客の電話番号、受付番号、受付日時等の顧客同一性情報や、引き換え可能となる予定時刻、引き換え場所等の引き換えのスケジュールに関する情報を適宜組み合わせて印刷される。バックヤードプリント部の店員（画像プリントサービスシステムの供給者）は、顧客が持参した受付票の記載内容を確認することにより、注文した顧客に確実に納品することができる。受付票発行手段を設ける場合には、出力方法選択手段の実行によりバックヤードプリントが選択された後に、受付票発行手段を実行する。

【0043】

また、顧客に受付票を発行する場合には、バックヤードプリント部2に、照合票プリント手段を設け、注文されたプリント物と共に、店側控えとして機能する照合票をプリントアウトするのが好ましい。店側控えである照合票には、受付票に記載した顧客同一性情報の少なくとも一部、好ましくは全てを記載する。照合票プリント手段は、バックヤードプリント手段を実行する直前又は直後、或いは、バックヤードプリント手段の実行と並行して行うのが好ましい。バックヤードプリント部に出向いた顧客は、持参した受付票を店員に提示し、店員が受付票の顧客同一性情報と保管していたプリント物に添付されている照合票の顧客同一性情報とが一致するのを確認できた場合にプリント物を受け取ることができる。顧客側控えである受付票と店舗側控えである照合票の記載内容を照合することによって、店員は、プリント物を受け取りに来た顧客の同一性を非常に容易に確認することができる。

【0044】

受付票及び照合票には、受付番号、受付時間、注文されたプリントメニューのように画像プリントサービスシステム側が自己の判断で付与できる顧客同一性情報だけ印刷してもよいが、プリント物を受け取りに来た顧客の同一性を一層確実に確認できるように、顧客の氏名や電話番号のように顧客側から提供されなけれ

ば知ることができない個人情報を顧客同一性情報に含めるのが好ましい。また、電話番号のような連絡先を入力してもらうことにより、顧客がプリント物を受け取りに来ない場合に問い合わせを行うなど適切に処理することができる。照合票に注文された画像の一部又は全部を縮小して一覧表示しておけば、店員が納品するプリント物を取り違えることを、さらに少なくすることができる。

【 0 0 4 5 】

顧客の個人情報を提供してもらいたい場合には、出力方法選択手段の実行によりバックヤードプリントが選択された後に、個人情報入力手段により顧客に個人情報を入力してもらい、それから受付票発行手段を実行する。例えば、出力方法選択手段の実行によりバックヤードプリントが選択された後、図示していない表示手段に顧客確認のために入力する必要がある個人情報の項目を表示した案内画面が現れ、顧客にタッチパネル等の注文内容入力手段 6 と共通の入力手段を操作させ、受付票に印刷すべき個人情報を入力させる。このような個人情報入力手段の実行により個人情報の入力完了すると、個人情報を含む顧客同一性情報が印刷された受付票が、受付票発行手段によりプリントアウトされる。ただし、個人情報の提供を受けなくてもよい場合には、顧客に個人情報を入力してもらう必要はないので、出力方法選択手段の実行によりバックヤードプリントが選択された後に、受付票発行手段により直ちに受付票がプリントアウトされる。

【 0 0 4 6 】

受付票発行手段と課金手段は連携していてもよい。例えば、顧客に個人情報入力手段により個人情報を入力させた後、引き続き課金手段により顧客から手数料を徴収し、それから、顧客を確認するために受付票に記載すべき情報と、徴収金額等のレシートに記載すべき情報を印刷した、レシート兼受付票をプリントアウトするような手順にしてもよい。

【 0 0 4 7 】

本発明に係る画像プリントサービスシステムにおいては、ポスト型画像出力装置の手軽さを損なうことなく、そのプリント性能を補うために、本体部 1 とバックヤードプリント部 2 とを同一店舗内に設置し、本体部 1 により対応するのが不可能又は能率の悪い注文を、本体部 1 の近くに設置したバックヤードプリント部

2に引き受けさせるのが好ましいが、本体部1とバックヤードプリント部2とが何らかの回線を介して遠隔地に設置されても良い。

【0048】

また、図2に示すように、本発明に係る画像プリントサービスシステムにおいては、互いに遠隔地にある本体部、バックヤードプリント部、及び、一つの本体部と一つのバックヤードプリント部からなる画像プリントサービスシステムの単位がイントラネットやインターネット等のネットワークを介して接続されていても良い。この場合、顧客は、図2に示す受付・プリント店A、受付・プリント店B、及び、受付専門店Cのいずれかの場所で画像のプリントを注文し、受付・プリント店A、受付・プリント店B、及び、プリント専門店Dのいずれかの場所でプリント物を受け取ることができ、ネットワークを介して接続された店舗の注文状況とプリント状況を管理センターEのセンターサーバ13で管理することができる。従って、顧客は、プリントの注文とプリント物の受け取りを全く離れた場所で行うことができ、便利である。また、システムの所有者又は管理者は、全ての店舗に受付部1とバックヤード出力部2を設ける必要はなくなり、受付部1とバックヤード出力部2の両方を備える店舗、及び、受付部1又はバックヤード出力部2の一方のみ備える店舗を、顧客のニーズに合わせて各所に配置することができる。

【0049】

次に、本発明の一態様を図面を参照しつつ説明する。図3に、本発明に係る画像出力システムの一例に用いられる本体部の外観を示す。図3において本体部1の上段部正面には、タッチパネル付きモニター14の画面が配置されている。タッチパネル付きモニター14はCRTや液晶パネルで構成される。タッチパネル付きモニター14は、操作の案内や、操作の状況や、読み取った画像或いは加工した画像等を表示する表示手段としての機能を発揮すると共に、注文内容入力手段、出力方法選択手段、受付票発行手段、個人情報入力手段等において入力操作を行う手段としての機能も発揮する。

【0050】

タッチパネル付きモニター14の画面の横には、各種記録メディアの挿入口1

5乃至19が設置され、上段部と下段部を分けている水平部には、プリント物の画像を読み取ってデジタルデータ化するスキヤナの読み取り面20が設置され、これらは、この例において画像データ入力手段の一部を構成している。この例では、各種記録メディアの挿入口として具体的には、フロッピーディスク挿入口15、CD-ROM挿入口16、PCカード挿入口17、スマートメディア挿入口18、コンパクトフラッシュ挿入口19がひとまとめの位置に配置されている。また、本体部1の筐体内には上記各記録メディアの挿入口に対応して、それぞれの読取装置の本体が設置されている。各挿入口には、手数料の徴収が完了するまで記録メディアを取り出せないように、図示しないシャッタを備えていても良い。

【0051】

本体部1の下段部には、メンテナンスキー21、スピーカ22、硬貨投入口23、硬貨返却レバー24、紙幣挿入口25、釣銭返却口26、レシート取出口27、プリント物（標準プリント用）取出口28、プリント物（プリカットシール用）取出口29、前面ドア開閉キー30が、それぞれ配置されている。メンテナンスキー21は、顧客を受け付けることのできる通常の運転モードと、管理者が画像プリントシステムの設定やメンテナンスを行う管理モードを切り替えるキーである。スピーカ22は、待機中や操作中に音声、BGM、効果音などを再生する。

【0052】

硬貨投入口23、硬貨返却レバー24、紙幣挿入口25、及び、釣銭返却口26は、この例において課金手段の一部を構成している。顧客は、硬貨投入口23に硬貨を投入し及び／又は紙幣挿入口25に紙幣を挿入することにより料金を支払う。釣銭がある場合には釣銭返却口26から放出されるので、それを受け取る。また、硬貨が詰まった時には硬貨返却レバー24を回すことにより釣銭返却口26から放出されるので、それを受け取る。

【0053】

レシート取出口27は、この例においてレシート発行手段及び受付票発行手段の一部を構成している。即時プリントを選択した場合には、このレシート取出口

27から徴収した金額や注文内容が印刷されたレシートが放出される。また、バックヤードプリントを選択した場合には、このレシート取出口27から、徴収した金額等のレシート記載事項に加えて、受付番号や顧客の電話番号や受け取り可能な時間等の受付票記載事項が印刷されたレシート兼受付票が放出される。

【0054】

プリント物（標準プリント用）取出口28、及び、プリント物（プリカットシール用）取出口29は、この例において即時プリント手段を構成している。顧客が即時プリントを選択した場合には、注文後、プリント処理が完了するまで本体部1の前で待って、プリント物取出口28又はプリント物取出口29から放出されるプリント物を受け取る。また、顧客がバックヤードプリントを選択した場合には、本体部1の前から立ち去って、本体部1とは別の場所に設置されているバックヤードプリント部2でプリント物を受け取る。

【0055】

前面ドア開閉キー30を回すと前面ドアが開いて、筐体内部に設置されている各装置のメンテナンスを行うことができる。本体部1の筐体内部には、タッチパネル付きモニターの画面、各記録メディアの挿入口、スキャナの読み取り面に対応して、それぞれの本体が設置されている。スピーカ22に対応してボリューム調節部が設置されている。硬貨投入口23、硬貨返却レバー24、紙幣挿入口25、及び、釣銭返却口26に対応して、硬貨の識別、収納、釣銭返却を行うコインメック（硬貨処理装置）、紙幣の識別、収納を行うビルバリ（紙幣処理装置）、コインメックが満杯になった時に硬貨を貯める金庫が設置されている。レシート取出口27に対応して、レシートプリンタが設置されている。プリント物取出口28、プリント物取出口29に対応してプリンターが設置されている。

【0056】

また、外観からは明確に認識できないが、本体部1の筐体内には、本体部1の各装置を制御するための制御部を含むパソコンや、電圧の変換を行う電源ボックス、停電時に制御部のCPUやハードディスクなどの破損を防ぐ無停電電源装置等が設置されている。

【0057】

図 4 に、上記図 3 に例示した本体部 1 を含む画像プリントサービスシステムの一例につきブロック図を示す。この例では、本体部 1 は、制御部 3 1、ハードディスク 3 2、CD-ROM 読取装置 3 3、タッチパネル付きモニタ 1 4、n 個の画像データ読取装置 3 4、n 個のシャッタ 3 5、コインメック 3 6、ビルバリ 3 7、レシートジャーナル部 3 8、2 台のプリンタ 3 9 及び 4 0、及び、通信制御装置 4 1 が、バス 4 2 を介して接続されている。一方、バックヤードプリント部 2 は、制御部 4 3、CD-ROM 読取装置 4 4、m 個のプリンタ 4 5、及び、通信制御装置 4 6 が、バス 4 7 を介して接続されている。そして、本体部 1 とバックヤードプリント部 2 は、それぞれの通信制御装置 4 1 及び 4 6 を介して回線 3 に接続されている。

【 0 0 5 8 】

本体部 1 の制御部 3 1 は、CPU、ROM、RAM で構成され、大容量記憶媒体としてのハードディスク 3 2 に格納されたプログラムに従って、バスを介して接続された各装置を駆動制御する。ハードディスク 3 2 には、各装置を駆動制御するプログラム、例えば各記録メディアに対応する読取プログラム、シャッタの開閉制御プログラム、課金プログラム等の他に、入力された画像を加工するための画像処理プログラムや、画像の合成に用いるフレーム等の情報を記憶した素材データベース、注文された画像の出力方法として自動的にバックヤードプリントを選択するための分岐条件等も格納されており、必要に応じて読み出されて RAM に記憶され、各種の手段が実行される。CD-ROM 読取装置 3 3 は、本体部 1 の ROM やハードディスクに記憶されているプログラムや情報をバージョンアップするために用い、メンテナンスキーにより本体部を管理モードに切り替えて、CD-ROM 読取装置 3 3 にバージョンアップ用の CD-ROM を挿入し、データの書き換えを行う。

【 0 0 5 9 】

図 4 において、本体部 1 のタッチパネル付きモニタ 1 4 に表示された操作案内に従って、同タッチパネル付きモニタ 1 4 に表示されたタッチパネルボタンを選択、実行することにより、画像データの読み込みから、プリント物の出力までの一連の操作を行うことができる。この例では、先ず、タッチパネル付きモニタ 1

4 に表示された操作案内に従ってプリント物のメニューを選択し、タッチパネルボタンを押すと、画像データの入力を案内する操作画面がタッチパネル付きモニター 1 4 に表示される。

【 0 0 6 0 】

画像データ読取装置 3 4 は、各種の記録メディアに対応した種々の読取装置 1 ～ n を含んでおり、顧客は持参した記録メディアに記録されている写真画像のデータを、対応する読取装置を用いて本体部 1 に入力することができる。画像データ読取装置 3 4 にはスキャナも含まれており、プリント物から画像を読み取り、デジタルデータ化して本体部 1 に入力することができる。なお、各画像データ読取装置 3 4 が読み取り専用ではなく、画像データを何らかの記録メディアに記録可能な場合には、顧客は本体部 1 を操作して作成した加工画像の画像データを記録メディアに保存し、持ち帰ることができる。シャッタ 3 5 は、各読取装置 1 ～ n の記録メディア挿入口に設けられ、当該記録メディア挿入口を開閉し、読取処理の最中に記録メディアを取り出せないようにしたり、課金処理が完了するまで記録メディアを取り出せないようにすることができる。

【 0 0 6 1 】

タッチパネル付きモニター 1 4 の操作案内に従って、持参した画像を画像データ読取装置 3 4 を用いてデジタルデータの形で入力すると、入力した画像がモニター 1 4 に表示され、タッチパネル付きモニター 1 4 の操作案内に従って画像を選択できる。この時、サムネイル画像等の形で一覧表示し、タッチパネル方式で画像の選択をできるようにすると便利である。

【 0 0 6 2 】

画像を選択すると、すでに選択したプリントメニューに沿った画像処理プログラムが実行され、顧客は、タッチパネル付きモニター 1 4 の操作案内に従って、画像の縮小拡大、回転、変形、他画像との合成等の加工を行うことができる。この時に、素材データベースに記憶されているフレーム等の素材画像を利用することができる。

【 0 0 6 3 】

画像の加工、合成の完了後に、タッチパネル付きモニター 1 4 の操作案内に従っ

て、プリントメニューと加工内容以外の注文内容、例えばプリント希望枚数、プリントサイズ等を入力する。この時も、タッチパネルに表示されたボタンやテンキーを押すことにより注文内容を入力できる。なお、スタート時に画像の加工、合成を要しないプリントメニューを選択した場合には、画像の加工、合成の操作を案内する操作画面が省略され、直ちにその他の注文内容を案内する操作案内が表示される。

【 0 0 6 4 】

全ての注文内容が入力し終わると、タッチパネル付きモニタ 1 4 には注文した画像を即時プリントするか或いはバックヤードプリントするかを選択する画面が表示され、選ぶべき出力方法を表示しているタッチパネルボタンを押すことにより、どちらかの出力方法が選択される。なお、本体部 1 に設置されたプリンタ 3 9 又は 4 0 で対応できないプリント物が注文される場合がある。また、画像プリントサービスシステムの提供者側が、注文を受けたプリント物の一部を一定の分岐条件に従って自動的に、或いは、注文を受けた全てのプリント物を自動的に、バックヤードプリントで処理するようにシステムを設定する場合がある。これらの場合には、注文内容の入力が完了した後に出力方法を選択する画面は表示されず、その代わりに、当該注文が自動的にバックヤードプリントに回された旨が表示されるか、当該注文をバックヤードプリントに回してもよいかどうかの承認を求める旨が表示される。

【 0 0 6 5 】

注文した画像を即時プリントする旨を選択した場合と、バックヤードプリントする旨を選択した場合とでは、その後の操作手順が異なってくる。タッチパネル付きモニタ 1 4 の操作案内に従って即時プリントを選択した場合には、当該モニタ 1 4 に請求金額が注文内容と共に表示され、料金の支払いが要求される。支払要求に応じて本体部 1 に硬貨を投入し及び／又は紙幣を挿入すると、コインメック 3 6 及び／又はビルバリ 3 7 が作動し、料金支払いのために本体部 1 に投入された硬貨又は挿入された紙幣の真偽判定、金種判定、金額計算、釣銭放出等の課金処理を実行する。即時プリントを選択した場合には、課金処理が終了した後に、レシートジャーナル処理部 3 8 がレシート用紙にプリントメニューや領収金額

等を印字し、レシートを放出する。なお、料金の請求を要しない場合には、課金手段の実行を省略するようにシステムを設定することができる。

【 0 0 6 6 】

レシートの放出後、前記シャッタが開放し、挿入されていた記録メディアが取り出せるようになり、タッチパネル付きモニタ 1 4 に記録メディアの取り出しを案内する操作画面が表示される。記録メディアの取り出しが完了すると、プリンタ 3 9 又は 4 0 によりプリント物が出力される。プリンタ 3 9 は標準サイズのプリント物を標準画質で出力することができ、プリンタ 4 0 はプリカットシールのプリント物を出力することができる。

【 0 0 6 7 】

一方、タッチパネル付きモニタ 1 4 の操作案内に従ってバックヤードプリントを選択した場合には、バックヤードプリントされたプリント物を受け取る時に顧客を確認するための個人情報を、タッチパネル付きモニタ 1 4 の操作案内に従ってタッチパネルのボタン又はテンキーを押すことにより入力する。顧客を確認するための個人情報が入力し終わると、タッチパネル付きモニタ 1 4 に請求金額が注文内容と共に表示され、料金の支払いが要求される。ここでの課金処理は、即時プリントを選択した場合と同様に実行される。バックヤードプリントを選択した場合には、課金処理が終了した後に、レシートジャーナル処理部 3 8 は、レシート用紙にレシート記載事項と共に顧客同一性情報を印字してレシート兼受付票を作成し、レシート取出口から放出する。レシート兼受付票に印字される顧客同一性情報には、顧客に入力してもらった個人情報が含まれる。なお、料金の請求を要しない場合には、即時プリントを選択した場合と同様に、課金手段の実行を省略するようにシステムを設定することができる。

【 0 0 6 8 】

レシート兼受付票の放出後、前記シャッタが開放し、挿入されていた記録メディアが取り出せるようになり、タッチパネル付きモニタ 1 4 に記録メディアの取り出しを案内する操作画面が表示される。記録メディアの取り出しが完了すると、本体部 1 の R A M、ハードディスク又は図示されていない記憶領域に記憶されている注文内容指示データが、本体部の通信制御装置 4 1、ネットワーク 3 を通

じてバックヤードプリント部 2 に送信される。また、注文内容指示データと共に、個人情報を含む顧客同一性情報及びその他の照合票に記載すべきデータがバックヤードプリント部 2 に送信される。

【 0 0 6 9 】

バックヤードプリント部 2 の制御部 4 3 は、CPU、ROM、RAM で構成され、ROM 又は図示されていない記憶領域に格納されたプログラムに従って、バス 4 7 を介して接続された各装置を駆動制御する。バックヤードプリント部も CD-ROM 読取装置 4 4 を備えており、バックヤードプリント部 2 の ROM に記憶されているプログラムをバージョンアップするために用いられる。

【 0 0 7 0 】

本体部 1 から送信された注文内容指示データ及び顧客同一性情報データは、バックヤードプリント部 2 の通信制御装置 4 6 を通じてバックヤードプリント部 2 に読み込まれ、制御部 4 3 により駆動制御される m 個のプリンタ 4 5 のいずれかに送信され、プリント物が出力される。バックヤードプリント部 2 のプリンタ 4 5 は、即時プリントでは対処できない注文に応じることができ、例えば、大量のプリント物を高速で短時間のうちに出力したり、大判サイズのプリント物等の特殊なプリント物を出力することができる。また、バックヤードプリント部 2 のプリンタ 4 5 でプリント物を出力する場合には、画像のプリント物と共に、当該プリント物を受け取るべき顧客を確認できるように、レシート兼受付票（顧客側控え）に記載された顧客同一性情報の少なくとも一部を、好ましくは全部を印字したインデックスプリント（店舗側控え）が出力される。

【 0 0 7 1 】

次に、本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例による注文受付処理及びプリント処理の手順を、フローチャート及びタッチパネル付きモニタ 1 4 の表示を図示しつつ説明する。

【 0 0 7 2 】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、本体部に備えられたタッチパネル付きモニタ 1 4 の画面には、図 1 1 に示すようなスタート画面が表示されている。このスタート画面の任意の位置を手で触ると図 1 2 に示すよ

うなメインメニュー画面が表示される。メインメニュー画面は、一定時間放置するとスタート画面に戻る。メインメニュー画面には、選択可能なプリント物の種類が列挙されており、具体的には、「デジタルフォト」、「フレーム合成」、「インデックスプリント」、「シール」、「証明写真」、及び「ハガキプリント」それぞれのタッチパネルボタンが上下2段に配列されている。

【0073】

メインメニュー画面において「デジタルフォト」を選択し、そのタッチパネルボタンに触れた場合には、スマートメディア、PCカード、コンパクトフラッシュカード、CD-ROM、フロッピーディスク（FD）から画像データを読み取るか、又は、写真等のプリント物からスキャナを用いて画像データを読み取って、プリントアウトすることができる。

【0074】

「フレーム合成」を選択した場合には、スマートメディア、PCカード、コンパクトフラッシュカード、CD-ROM、フロッピーディスク（FD）から画像データを読み取るか、又は、写真等のプリント物からスキャナを用いて画像データを読み取り、読み取った画像とシステム側が用意しているフレームとを合成してプリントアウトすることができる。

【0075】

「インデックスプリント」を選択した場合には、スマートメディア、PCカード、コンパクトフラッシュカード、CD-ROM、フロッピーディスク（FD）から画像データを読み取り、サムネイル画像を一覧表示したインデックスプリントをプリントアウトすることができる。

【0076】

「シール」を選択した場合には、スマートメディア、PCカード、コンパクトフラッシュカード、CD-ROM、フロッピーディスク（FD）から画像データを読み取るか、又は、写真等のプリント物からスキャナを用いて画像データを読み取り、読み取った画像とシステム側が用意しているフレームとを合成し、プリカットシールをプリントアウトすることができる。プリカットシール1枚の中には同じ画像の小画面（コマ）が複数プリントされ、各小画面はハーフカットによ

り分割されている。

【 0 0 7 7 】

「証明写真」を選択した場合には、店内で証明写真用画像をデジタルカメラで撮影してフロッピーディスクに保存し、保存した画像データを本体部で読み取り、免許証サイズ、履歴書サイズ、パスポートサイズ、ビザサイズの中からサイズを選び、さらにカラー又はモノクロを選んでプリントすることができる。

【 0 0 7 8 】

「ハガキプリント」を選択した場合には、スマートメディア、CFカード、フロッピーディスク（FD）、PCカード、又はCD-ROMから画像データを読み取るか、又は、写真等のプリント物からスキャナを用いて画像データを読み取り、読み取った画像を加工してハガキデータを作成し、作成したハガキデータを記録メディアに保存し、保存した記録メディアからハガキデータを読み取ってプリントすることができる。

【 0 0 7 9 】

先ず、「デジタルフォト」を選択した場合の手順を説明する。前記のメインメニュー画面において「デジタルフォト」の位置に手を触れると、図5に示すような「デジタルフォト」の手順がスタートする。なお、「デジタルフォト」の手順がスタートした以降に表示される各操作画面には、原則的に「キャンセル」ボタンと「前画面に戻る」ボタンが用意されていて、「キャンセル」ボタンを押すとスタート画面に戻り、「前画面に戻る」ボタンを押すと一段階前の操作画面に戻り、操作をやり直すことができる。

【 0 0 8 0 】

「デジタルフォト」の手順がスタートすると、図13に示すように、画像データの読取り元を列挙した操作画面が表示され、いずれかの読取り元を選択することができる（S101）。この時の操作画面には、最上段に「入力メディアを下から選んでください」のメッセージが横書きされ、その下側に、スマートメディア、コンパクトフラッシュカード（CFカード）、フロッピーディスク、PCカード、CD-ROM、又は、写真（スキャナ）それぞれの名称を付した各タッチパネルボタンが列挙されている。この操作画面において、いずれかのタッチパネ

ルボタンに手を触れると、対応する読取り元が選択される。

【 0 0 8 1 】

スマートメディア、CFカード、フロッピーディスク、PCカード、又は、CD-ROMいずれかの読取り元を選択すると、選択した記録メディアに対応する挿入方法を示す操作画面が表示され、記録メディアを挿入することができ（S 1 0 2）、その後、S 1 0 3～S 1 0 5の手順が続く。

【 0 0 8 2 】

スマートメディアを選択した時の操作画面には、図 1 4 に示すように、最上段に「スマートメディアをセットして読取開始を押して下さい」のメッセージが横書きされ、最下段に「キャンセル」ボタン、「前画面へ戻る」ボタンと共に、「読取開始」のボタンが設けられている。同様に、CFカードを選択した場合には図 1 5 に示すような操作画面が現われ、フロッピーディスクを選択した場合には図 1 6 に示すような操作画面が現われ、PCカードを選択した場合には図 1 7 に示すような操作画面が現われ、CD-ROMを選択した場合には図 1 8 に示すような操作画面が現われる。

【 0 0 8 3 】

操作画面の案内に従って、いずれかの記録メディアを所定の挿入口に挿入し（S 1 0 2）、タッチパネルの読取開始ボタンに手を触れると、記録メディアを挿入した挿入口がシャッタにより閉鎖され、画像データの読取が開始される（S 1 0 3）。

【 0 0 8 4 】

読取が終了すると、図 1 9 に示すように、読み取られた全画像のサムネイル画像を一覧表示した操作画面が現われる（S 1 0 4）。この時の操作画面には、最上段に「プリントする画像を選んで、枚数を入れて下さい」のメッセージが横書きされ、その下側にサムネイル画像が横方向 2 列に合計 6 個配列され、各サムネイル画像には注文枚数の入力欄が設けられている。サムネイル画像の下側には、注文枚数を増減するために、「選択画像」の「+」「-」ボタンと、全画像の「+」「-」ボタンが設けられている。画面上いずれかのサムネイル画像に触れて画像を選択し「選択画像」の「+」「-」ボタンに触れることにより、選択した

画像の注文枚数を個別に増減することができる。一方、全画像の「+」「-」ボタンに触れることにより、画面上に表示されている全画像の注文枚数を増減できる。

【 0 0 8 5 】

サムネイル画像の数が多くて一画面に収まらない場合には、複数のページに分けて全てのサムネイル画像が列挙されるが、現在画面に現れているページ数とページを前進後退させる三角形のスクロールボタンは、画面上、注文枚数を増減するボタンと同じ段に表示される。また、この時の操作画面の最下段には、「キャンセル」ボタンと「前段階に戻る」ボタンと共に、「決定」ボタンが設けられている。この操作画面においてプリントしたい画像を選択し、各画像のプリント枚数をそれぞれ設定し、決定ボタンを押すと、注文内容が確定する（S 1 0 5）。

【 0 0 8 6 】

「デジタルフォト」の手順においては、読取り元として「写真（スキャナ）」を選択し、スキャナを用いて写真等のプリント物から画像データを読み取ることでもできる（S 1 0 6～S 1 1 1）。図 1 3 の操作画面において「写真（スキャナ）」を読取り元として選択すると、図 2 0 に示すように、読取サイズを選択する操作画面が現れる（S 1 0 6）。この時の操作画面には、最上段に「読取サイズを選んで下さい」のメッセージが横書きされ、その下側に、写真サイズを選ぶボタンと A 5 サイズを選ぶボタンが設けられている。写真サイズを選択すると、縦 8 9 mm×横 1 2 7 mm の通常の写真サイズ以内の大きさの原稿を読み取り、A 5 サイズを選択すると、通常の写真サイズを超えて縦 1 4 8 . 5 mm×横 2 1 0 mm までの大きさの原稿を読み取る。

【 0 0 8 7 】

写真サイズまたは A 5 サイズいずれかのボタンに触れると対応する読取サイズが選択され、図 2 1 に示すように、スキャナで原稿を読取る操作画面が現れる（S 1 0 7）。この時の操作画面には、最上段に「スキャナーに原稿をセットして読取開始を押して下さい」のメッセージが横書きされ、最下段に「キャンセル」ボタン、「前画面へ戻る」ボタンと共に、「読取開始」ボタンが設けられている。

【 0 0 8 8 】

図 2 1 の操作画面に従ってスキヤナに原稿をセットし、読取開始のボタンに触れると、原稿を走査読取りし画像データが得られる（S 1 0 8）。読取が終了すると、図 2 2 に示すように、読み取られた画像を表示した操作画面が現われる（S 1 0 9）。この時の操作画面には、最上段に「写真の位置と大きさを調整して下さい」のメッセージが横書きされ、メッセージの下側の半面に読み取られた画像が表示され、他の半面には拡大縮小、及び、移動の各操作パネルが上下 2 段に配列され、最下段には「キャンセル」ボタン、「前画面に戻る」ボタン、「元に戻す」ボタン、「確認」ボタンが設けられている。

【 0 0 8 9 】

拡大縮小パネルには拡大用ボタンと縮小用ボタンが設けられ、これらのボタンに触れることで読み取った画像の大きさを変更することができる。移動パネルには上下左右の各移動ボタンが設けられ、これらのボタンに触れることで画像の位置を調節することができる。元に戻すボタンに触れると、元の画像サイズと位置に戻る。画像の調整が終了し確認ボタンに触れると、画像の調節が完了（S 1 1 0）する。

【 0 0 9 0 】

画像の調節が完了すると、図 2 3 に示すように、画像のプリント枚数を設定する操作画面が現れる（S 1 1 1）。この時の操作画面には、最上段に「注文枚数を設定して下さい」のメッセージが横書きされ、メッセージの下側には注文枚数の入力欄と注文枚数を増減する入力ボタンが設けられ、最下段には「キャンセル」ボタン、「前画面に戻る」ボタン、「決定」ボタンが設けられている。入力ボタンには上向き三角形の枚数増加ボタンと下向きの三角形枚数減少ボタンがあり、これらに触れることで注文枚数を増減できる。入力が終了し決定ボタンに触れると、注文枚数を含むすべての注文内容が確定する（S 1 1 1）。

【 0 0 9 1 】

記録メディアから画像データを読み取って注文内容を確定するか（S 1 0 5）、或いは、写真等のプリント物からスキヤナで画像データを読み取って注文内容を確定すると（S 1 1 1）、図 2 4 に示すように、出力方法を選択する操作画面

が現れる（S 1 1 2）。この時の操作画面には、最上段に「受取り方法を選択してください」のメッセージが横書きされ、メッセージの下側にはプリント予定終了時刻が表示され、プリント予定終了時刻の下側には、受付部ですぐにプリント物を受け取りたい場合に「即時プリント」を選択するボタンと、バックヤード出力部で受け取りたい場合に「後で受け取る」を選択するボタンとが設けられ、最下段には「キャンセル」ボタン、「前画面に戻る」ボタンが設けられている。

【 0 0 9 2 】

この操作画面において即時プリントを選択すると、図 2 5 に示すように料金を請求する案内画面が現れ、課金処理が行われ（S 1 1 3）、その後、S 1 1 4 ～ S 1 1 6 の手順が続く。

【 0 0 9 3 】

課金処理の案内画面には、最上段に「お金を入れて下さい」のメッセージが横書きされ、その下側に、注文枚数、1 枚料金（単価）、合計金額（請求額合計）、投入料金（投入済みの金額）が上から順次 4 段に横書きされる。案内画面の説明に従って硬貨投入口及び／又は紙幣挿入口に投入した金額が請求額合計に達し又は超えると、合計金額を確認するだけのモードになっている場合には、釣銭放出口から必要に応じて釣銭が放出され、図 2 6 に示すように課金内容の確認を求める案内画面が現れる。この時の案内画面には、最上段に「これでよろしければ確認ボタンを押して下さい」のメッセージが横書きされ、その下側に、注文枚数、1 枚料金、合計料金が上から順次 3 段に横書きされ、最下段に「キャンセル」ボタン、「全画面へ戻る」ボタンと共に、「確認」ボタンが設けられる。この案内画面において確認ボタンに触れると課金処理が完了し、次のステップに移行する。

【 0 0 9 4 】

課金処理が完了すると、レシートが発行され、レシート取出口から放出される（S 1 1 4）。レシートの発行後、画像データの読取り元である記録メディア又は原稿を取り外すための操作画面が現れ、さらに記録メディアを読取り機に挿入している場合には挿入口のシャッターが開放される（S 1 1 5）。スマートメディアが挿入されている時の操作画面には、図 2 7 に示すように、最上段に「スマー

トメディアを取出してプリント開始を押して下さい」のメッセージが横書きされ、最下段に「プリント開始」ボタンが設けられている。同様に、CFカードが挿入されている場合には図28に示すような操作画面が現われ、フロッピーディスクが挿入されている場合には図29に示すような操作画面が現われ、PCカードが挿入されている場合には図30に示すような操作画面が現われ、CD-ROMが挿入されている場合には図31に示すような操作画面が現われる。

【0095】

また、写真等のプリント物をスキャナで読み取った場合の操作画面には、図32に示すように、最上段に「スキャナから原稿を取出してプリント開始を押して下さい」のメッセージが横書きされ、最下段に「プリント開始」のボタンが設けられている。

【0096】

操作画面の案内に従って、読取り機に挿入されていた記録メディア又はスキャナのガラス面に置かれていた原稿を取り外し、プリント開始ボタンに触れると、本体部に設置されたプリンターにより即時プリントが開始する。プリント処理している間は、図33に示すような案内画面が現れる。この時の案内画面には、最上段に「プリント中です」のメッセージが横書きされ、その下側にプリント中の画像が表示され、画像の下側には、プリント処理のおおよその進行状況を示すタイムラインが点灯する。そして、プリント処理が終了すると、プリント物が本体部のプリント物取出口（標準プリント）から放出され、図34に示すような終了画面が現れる。この終了画面は、しばらくするとスタート画面に復帰する。

【0097】

一方、出力方法を選択する操作画面（図24）の段階（S112）において「後で受け取る」ボタンに触れてバックヤードプリントを選択すると、図35、図36に示すように、顧客を確認するための個人情報を入力する操作画面が現れる（S117）。この段階では、先ず図35の操作画面が現れる。この時の操作画面には、最上段に「お客様のお名前を入力して下さい」のメッセージが横書きされ、その下側に氏名入力欄が設けられ、その下側に氏名入力のためのカナキーが配列され、最下段に「キャンセル」ボタン、「前画面へ戻る」ボタンと共に、「

設定終了」のボタンが設けられている。この操作画面において氏名を入力し、「設定終了」ボタンに触れると、氏名の入力が完了し、引き続き、図 3 6 の操作画面が現れる。この時の操作画面には、最上段に「お客様の電話番号を入力して下さい」のメッセージが横書きされ、その下側に電話番号入力欄が設けられ、その下側に番号入力のためのテンキーが配列され、最下段に「キャンセル」ボタン、「前画面へ戻る」ボタンと共に、「設定終了」ボタンが設けられている。この操作画面において電話番号を入力し、「設定終了」のボタンに触れると、電話番号の入力が完了する。

【 0 0 9 8 】

顧客の氏名と電話番号の入力が完了すると、即時プリントの課金処理（S 1 1 3）と同様に図 2 5 に示すような案内画面が現れ、課金処理が行われる（S 1 1 8）。課金処理が完了すると、図 3 7 に示すようなレシート兼受付票が発行され、レシート取出口から放出される（S 1 1 9）。レシート兼受付票には、メニュー、コマ数、合計枚数（プリント枚数）、合計金額（料金）等のどちらかというレシート記載事項に加えて、バックヤードプリントされたプリント物を受け取る際に顧客を確認するための情報として受付番号、受付日時、出来上り日時、氏名、電話番号等の顧客同一性情報が記載されている。顧客同一性情報には、個人情報である氏名と電話番号が含まれている。

【 0 0 9 9 】

レシート兼受付票の発行後、画像データの読取り元である記録メディア又は原稿を取り外すための操作画面が現れ、記録メディアを読取り機に挿入している場合には挿入口のシャッタが開放される（S 1 2 0）。この段階では、即時プリントの手順における S 1 1 5 と同様に、使用した読取り元の種類に応じて図 2 7 乃至図 3 2 のいずれかに示す操作画面が現われる。操作画面の案内に従って、読取り機に挿入されていた記録メディア又はスキヤナのガラス面に置かれていた原稿を取り外し、プリント開始ボタンに触れると、本体部からバックヤード出力部に注文内容のデータと照合票に記載すべきデータが送信される（S 1 2 1）。データの送信が完了すると、バックヤードプリント部において図 6 に示すバックヤードプリントの手順がスタートし、本体部のモニタ 1 4 には図 3 4 に示すような終

了画面が現われる。

【0100】

バックヤード出力部はオーダー監視状態になっていて、本体部から注文内容のデータが送信されてくると、それを受信する（S201）。データ受信後、バックヤード出力部は、当該バックヤード出力部におけるプリントJOB状況を確認し（S202）、新しく受信したデータのプリント終了予定時間を算出する（S203）。ここで算出されたプリント終了予定時間が遅すぎる場合には、状況に応じてプリントJOBの順序を変更することができる。例えば、証明写真のプリントを顧客の希望により又は自動的にバックヤードプリントに回す場合に、当該証明写真のプリント処理を優先的に割り込ませてよい。

【0101】

プリント終了予定時間の算出後、バックヤードプリントのプリント物を受け取るべき顧客を確認できるように、レシート兼受付票（顧客側控え）に記載された顧客同一性情報に対応する顧客同一性情報を印字したインデックスプリント（店舗側控え）が出力される（S204）。図38は、店舗側控えとしてのインデックスプリントの一例である。この例においてインデックスプリントには、上段部に注文されたプリント物の8個のサムネイル画像が2段に分けて配列され、下段部には、図37に示したレシート兼受付票の記載事項と全く同じ内容が記載されている。

【0102】

インデックスプリントが完了すると、バックヤードプリント部に設置されたプリンタにより注文通りのプリントが行われる。バックヤードプリント部に出向いた顧客は、バックヤードプリント部に居る店員にレシート兼受付票を提示し、店員が店舗側控えとしてのインデックスプリントと照合し、顧客の同一性が確認できた場合にプリント物を受け取ることができる。

【0103】

次に、「フレーム合成」を選択した場合の手順を説明する。前記のメインメニュー画面において「フレーム合成」の位置に手を触れると、図7に示すような「フレーム合成」の手順がスタートする。なお、「フレーム合成」の手順がスター

トした以降に表示される各操作画面には、原則的に「キャンセル」ボタンと「前画面に戻る」ボタンが用意されていて、「キャンセル」ボタンを押すとスタート画面に戻り、「前画面に戻る」ボタンを押すと一段階前の操作画面に戻り、操作をやり直すことができる。

【0104】

「フレーム合成」の手順がスタートすると、図39に示すように、フレームを列挙した操作画面が表示され、いずれかのフレームを選択することができる（S301）。この時の操作画面には、最上段に「好きなフレームデザインを選んで下さい」のメッセージが横書きされ、メッセージの下側に、フレームデザインが列挙され、最下段に「キャンセル」ボタン、「全画面へ戻る」ボタン、「拡大表示」ボタン、「決定」ボタンが設けられている。フレームデザインは素材データベースから呼び出されて画面に表示される。

【0105】

画面に表示されているフレームの一つに触れてから拡大表示ボタンに触れると、図40に示すように、選択したフレームの拡大イメージが表示される。この時の操作画面には、最上段に「よろしければ確認ボタンを押して下さい」のメッセージが横書きされ、メッセージの下側に、拡大されたフレームデザインが表示され、最下段に「キャンセル」ボタン、「全画面へ戻る」ボタンと共に、「確認」ボタンが設けられている。拡大したフレームが気に入らない場合には全画面へ戻るボタンに触れることによりフレームを一覧表示する画面に戻し、別のフレームを選択することができる。

【0106】

図39の画面においてフレームを選択して直ちに決定ボタンに触れるか、或いは、図40の画面で拡大イメージを表示させてから確認ボタンに触れると、使用するフレームが確定する。

【0107】

フレームが確定すると、図13に示すように、画像データの読取り元を選択する操作画面が現れる（S302）。この操作画面において、いずれかのタッチパネルボタンに手を触れると、対応する読取り元が選択される。

【0108】

スマートメディア、CFカード、フロッピーディスク、PCカード、又は、CD-ROMいずれかの読取り元を選択すると、選択した記録メディアに対応する挿入方法を示す操作画面（図14～図18）が表示され、記録メディアを挿入することができ（S303）、その後、S304～S309の手順が続く。

【0109】

操作画面の案内に従って、いずれかの記録メディアを所定の挿入口に挿入し（S303）、タッチパネルの読取開始ボタンに手を触れると、記録メディアを挿入した挿入口がシャッタにより閉鎖され、画像データの読取が開始される（S304）。

【0110】

読取が終了すると、図41に示すように、読み取られた全画像のサムネイル画像を一覧表示した操作画面が現われる（S305）。この時の操作画面には、最上段に「プリントする画像を選んで下さい」のメッセージが横書きされ、メッセージの下側にサムネイル画像が横方向2列に合計6個配列され、サムネイル画像の下側には、操作画面に表示されているサムネイル画像のページ数、前進用スクロールボタン、後退用スクロールボタンが設けられ、最下段には「キャンセル」ボタン、「前画面に戻るボタン」と共に、「決定」ボタンが設けられている。

【0111】

一覧表示されたサムネイル画像のなかからプリントしたい画像を一つだけ選択し、決定ボタンに触れると、図42に示すように、選択した画像とフレームを合成した画像を表示した操作画面が現われ（S307）、合成画像を調整することができる（S308）。この時の操作画面には、最上段に「デザインにあわせて写真の位置と大きさを調整して下さい」のメッセージが横書きされ、メッセージの下側の半面に合成画像が表示され、他の半面には拡大縮小、及び、移動の各操作パネルが上下2段に配列され、最下段には「キャンセル」ボタン、「前画面に戻る」ボタン、「元に戻す」ボタン、「確認」ボタンが設けられている。

【0112】

拡大縮小パネルには拡大用ボタンと縮小用ボタンが設けられ、これらのボタン

に触れることで読み取った画像の大きさを変更してフレームに合わせることができる。移動パネルには上下左右の各移動ボタンが設けられ、これらのボタンに触れることで画像の位置をフレームに合わせることができる。元に戻すボタンに触れると、元の画像サイズと位置に戻る。画像の調整が終了し確認ボタンに触れると、合成画像が確定する。

【0113】

合成画像が確定すると、図23に示すように、プリント枚数を設定する操作画面が現われる（S309）。この時の操作画面には、最上段に「注文枚数を設定して下さい」のメッセージが横書きされ、メッセージの下側には注文枚数の入力欄と注文枚数を増減する入力ボタンが設けられ、最下段には「キャンセル」ボタン、「前画面に戻る」ボタン、「決定」ボタンが設けられている。入力ボタンには上向き三角形の枚数増加ボタンと下向きの三角形枚数減少ボタンがあり、これらに触れることで注文枚数を増減できる。入力が終了し決定ボタンに触れると、注文枚数を含むすべての注文内容が確定する。

【0114】

「フレーム合成」の手順においては、読取り元として写真等のプリント物を選択し、スキャナを用いて画像データを読み取ることもできる（S310～S312）。スキャナを用いて画像データを読み取る手順は、デジタルフォトの手順S106～108と同じである。すなわち、画像データの読取り元を選択する操作画面（図13）において写真（スキャナ）を読取り元として選択すると（S302）、読取サイズを選択する操作画面（図20）が現れ、写真サイズ又はA5サイズを選ぶことができる（S310）。読取サイズを選択すると、スキャナで原稿を読取る操作画面（図21）が現れる。操作画面に従ってスキャナに原稿をセットし、読取開始のボタンに触れると（S311）、原稿を走査読取りし画像データが得られる（S312）。

【0115】

画像データの読取が終了すると、図42に示すように、選択した画像とフレームを合成した画像を表示した操作画面が現われ（S313）、合成画像の調整（S314）とプリント枚数の設定（S315）を行うことができる。スキャナで

読み取った画像の調整とプリント枚数の設定（S 3 1 3 ～ S 3 1 5）は、記録メディアで画像を読み取った場合の手順 S 3 0 7 ～ S 3 0 9 と同じである。

【 0 1 1 6 】

手順 S 3 0 9 又は S 3 1 5 において注文内容が確定した後は、デジタルフォトの場合と同様の手順で出力方法を選択し（S 3 1 6）、即時プリント又はバックヤードプリントを行う。すなわち、出力方法の選択（S 3 1 6）はデジタルフォトの手順 S 1 1 2 と同じであり、即時プリントの手順（S 3 1 7 ～ S 3 2 0）はデジタルフォトの手順 S 1 1 3 ～ S 1 1 6 と同じであり、バックヤードプリントの手順（S 3 2 1 ～ S 3 2 5 及びデータ送信以降の手順）は、デジタルフォトの手順 S 1 1 7 ～ S 1 2 1 及び図 6 の S 2 0 1 ～ 2 0 5 と同じである。

【 0 1 1 7 】

次に、「インデックスプリント」を選択した場合の手順を説明する。前記のメインメニュー画面において「インデックスプリント」の位置に手を触れると、図 8 に示すような「インデックスプリント」の手順がスタートする。なお、「インデックスプリント」の手順がスタートした以降に表示される各操作画面には、原則的に「キャンセル」ボタンと「前画面に戻る」ボタンが用意されていて、「キャンセル」ボタンを押すとスタート画面に戻り、「前画面に戻る」ボタンを押すと一段階前の操作画面に戻り、操作をやり直すことができる。

【 0 1 1 8 】

「インデックスプリント」の手順がスタートすると、図 4 3 に示すように、画像データの読取り元を列挙した操作画面が表示され、いずれかの読取り元を選択することができる（S 4 0 1）。この時の操作画面には、最上段に「入力メディアを下から選んで下さい」のメッセージが横書きされ、その下側に、スマートメディア、CFカード、フロッピーディスク、PCカード、又は、CD-ROMそれぞれの名称を付した各タッチパネルボタンが列挙されている。この操作画面において、いずれかのタッチパネルボタンに手を触れると、対応する読取り元が選択される。なお、「インデックスプリント」の手順では読取り元として写真等の画像（スキャナ）を選ぶことができない。

【 0 1 1 9 】

この操作画面において、いずれかのタッチパネルボタンに手を触れると、対応する読取り元が選択され、選択した記録メディアの挿入方法を示す操作画面（図 1 4 ～図 1 8）が現れる。操作画面の案内に従って、いずれかの記録メディアを所定の挿入口に挿入し（S 4 0 2）、タッチパネルの読取開始ボタンに手を触れると、記録メディアを挿入した挿入口がシャッタにより閉鎖され、画像データの読取が開始される（S 4 0 3）。

【 0 1 2 0 】

読取が終了すると、図 4 4 に示すように、読み取られた全画像をインデックス表示した操作画面が現われる（S 4 0 4）。この時の操作画面には、最上段に「画面を確認して決定を押して下さい」のメッセージが横書きされ、メッセージの下側にインデックスイメージが表示され、インデックスイメージの右肩余白にページ数が表示され、インデックスイメージの左右余白に前進用スクロールボタン、後退用スクロールボタンが設けられ、最下段には「キャンセル」ボタンと「前画面に戻る」ボタンと共に、「決定」ボタンが設けられている。

【 0 1 2 1 】

画像のコマ数が多い場合にはインデックスは複数ページに分けられ、画面に表示されているインデックスのページ数が表示され、前進用スクロールボタン又は後退用スクロールボタンに触れることにより別のページへ移動できる。スクロールボタンで各ページのインデックスイメージを確認後、確認ボタンに触れると、注文内容が確定する（S 4 0 5）。

【 0 1 2 2 】

手順 S 4 0 5 において注文内容が確定した後は、デジタルフォトの場合と同様の手順で出力方法を選択し（S 4 0 6）、即時プリント又はバックヤードプリントを行う。すなわち、出力方法の選択（S 4 0 6）はデジタルフォトの手順 S 1 1 2 と同じであり、即時プリントの手順（S 4 0 7 ～ S 4 1 0）はデジタルフォトの手順 S 1 1 3 ～ S 1 1 6 と同じであり、バックヤードプリントの手順（S 4 1 1 ～ S 4 1 5 及びデータ送信以降の手順）は、デジタルフォトの手順 S 1 1 7 ～ S 1 2 1 及び図 6 の S 2 0 1 ～ 2 0 5 と同じである。ただし、S 4 0 7 及び S 4 1 2 の課金処理においては、図 2 5 の案内画面に代えて図 4 5 の案内画面が現

れ、料金を投入すると図 2 6 の案内画面に代えて図 4 5 の案内画面に対応する支払い確認画面が現れる。インデックスプリントにおける課金処理の案内画面では、「注文枚数」ではなく「インデックス枚数」が表示される。インデックスプリントでは、S 4 0 4 において画面表示されたインデックスイメージの全ページを 1 セットでプリントし、インデックス枚数とはインデックスイメージの総ページ数のことである。従って、デジタルフォトにおける注文枚数は顧客の意志で変更できるが、インデックスプリントにおけるインデックス枚数は、顧客の意志で変更することができない。

【 0 1 2 3 】

次に、「シール」を選択した場合の手順を説明する。前記のメインメニュー画面において「シール」の位置に手を触れると、フレーム合成の場合と同様に図 7 に示すような「シール」の手順がスタートし、即時プリント又はバックヤードプリントにより複数の小画面に分割されたプリカットシールが得られる。

【 0 1 2 4 】

次に、「証明写真」を選択した場合の手順を説明する。前記のメインメニュー画面において「証明写真」の位置に手を触れると、図 9 に示すような「証明写真」の手順がスタートする。なお、「証明写真」の手順がスタートした以降に表示される各操作画面には、原則的に「キャンセル」ボタンと「前画面に戻る」ボタンが用意されていて、「キャンセル」ボタンを押すとスタート画面に戻り、「前画面に戻る」ボタンを押すと一段階前の操作画面に戻り、操作をやり直すことができる。

【 0 1 2 5 】

「証明写真」の手順がスタートすると、図 4 6 に示すように、プリントタイプを選択する操作画面が現われる（S 5 0 1）。この時の操作画面には、最上段に「どのサイズでプリントしますか？」のメッセージが横書きされ、その下側に、サイズ指定パネルと色指定パネルが 2 段に配列され、最下段に「キャンセル」ボタン、「前画面に戻る」ボタン、「決定」ボタンが設けられている。サイズ指定パネルには、ビザサイズ、免許証サイズ、履歴書サイズ、パスポートサイズの各タッチパネルボタンが縦に配列され、色指定パネルには、カラーとモノクロの各

タッチパネルボタンが横に配列されている。これらのタッチパネルボタンに触れることにより、サイズと色を指定した後、決定ボタンに触れるとプリントタイプが確定する。

【 0 1 2 6 】

プリントタイプが確定すると、図 4 7 に示すように料金を請求する案内画面が現れ、課金処理が行われる（S 5 0 2）。証明写真の手順における課金処理の案内画面には、最上段に「お金を入れて下さい」のメッセージが横書きされ、その下側には、1 枚料金（単価）、及び、投入済みの金額が上下 2 段に横書きされ、最下段に「キャンセル」ボタン、及び、「前画面に戻る」ボタンが設けられている。なお、この例では、同一の画像を 1 つ又は複数有する証明写真を、一回の注文につき 1 枚だけプリントアウトするが、課金前に任意の枚数をプリントアウトできるように設定できるようにしてもよい。案内画面の説明に従って硬貨投入口及び／又は紙幣挿入口に投入した金額が請求額合計に達し又は超えると、釣銭放出口から必要に応じて釣銭が放出され、課金処理が完了する。

【 0 1 2 7 】

課金処理が完了すると、図 1 6 に示す操作画面が現われ、証明写真の画像を記録したフロッピーディスク（F D）を読取装置に挿入するように要求される。この例では、本体部が設置されている店舗内に無地の背景を備えた撮影用スペースを用意しておき、店員がデジタルカメラを用いて証明写真作成の目的で顧客を撮影し、撮影した画像データを F D に保存して顧客に手渡す。証明写真の画像を加工することは許されないため、無地の背景を有し且つ証明写真に適した大きさに撮影した画像を顧客に提供するためである。一方、本体部は、証明写真の手順において F D からしか画像データを読み取れないように設定される。なお、本体部を任意に設定して、いかなる記録メディアから証明写真用の画像データを読み取れるようにしてもよい。

【 0 1 2 8 】

操作画面の案内に従って、顧客が証明写真用の画像を保存した F D を本体部の F D 読取り装置に挿入すると（S 5 0 3）、図 4 8 に示すように、フロッピーに保存されている証明写真用画像のサムネイル画像を一覧表示した操作画面が現れ

る（S504）。この時の操作画面には、最上段に「プリントする画像を選んで下さい」とメッセージが横書きされ、その下側に読み取った全画像のサムネイル画像が列挙され、サムネイル画像の表示領域の余白右下に、画像の選択方法を説明する「写真をタッチして選んで下さい」のメッセージが記載され、最下段に「キャンセル」ボタンと「決定」ボタンが設けられている。この操作画面において画像を一つだけ選んで、その画像に触れ決定ボタンに触れると、プリントする画像が確定する。

【0129】

プリントする画像が確定すると、FDを取出すための操作画面が現われるので、操作画面の案内に従ってFDを取外す（S506）。FDの取外しが完了すると、図51に示すように、注文された証明写真はバックヤードプリントに振り分けられたことを顧客に伝える案内画面が現れる。この例では、証明写真のプリントアウトは本体部のプリンターでは対応できないので、証明写真の注文については全てバックヤードプリントが自動的に選択されるようにシステムが設定されている。

【0130】

この時の案内画面には、最上段に「カウンターにてお受け取りください」とメッセージが横書きされ、その下側に読み取ったプリント終了予定時刻が表示され、その下側に「確認」ボタンが設けられ、最下段に「キャンセル」ボタンと「前画面に戻る」ボタンが設けられている。

【0131】

この案内画面において確認ボタンに触れると、バックヤードプリントが自動選択され、図35、図36に示すように、顧客を確認するための個人情報を入力する操作画面が現れる（S508）。個人情報の入力完了すると、図37に示すようなレシート兼受付票が発行され、レシート取出し口から放出される（S509）。レシート兼受付票の発行後、本体部からバックヤード出力部に注文内容のデータが送信され（S510）、終了画面（図34）が表示され、バックヤードプリントの手順がスタートする。バックヤードプリントが選択された後の各手順は、デジタルフォトの場合と同じである。すなわち個人情報の入力（S508）

は、デジタルフォトの手順 S 1 1 7 と同じであり、レシート兼受付票の発行（S 5 0 9）は、デジタルフォトの手順 S 1 1 9 と同じであり、注文内容のデータ送信（S 5 1 0）は、デジタルフォトの手順 S 1 2 1 と同じであり、データ送信以降の手順は、デジタルフォトの手順 S 2 0 1 ～ S 2 0 5 と同じである。

【 0 1 3 2 】

上記手順を経てプリントアウトされた証明写真の各小画面には、画像部分を目的、用途に則したサイズでカットできるように、画像の四隅にカットマークが付与されているのが好ましい。

【 0 1 3 3 】

次に、「ハガキプリント」を選択した場合の手順を説明する。前記のメインメニュー画面において「ハガキプリント」の位置に手を触れると、図 1 0 に示すような「ハガキプリント」の手順がスタートする。なお、「ハガキプリント」の手順がスタートした以降に表示される各操作画面には、原則的に「キャンセル」ボタンと「前画面に戻る」ボタンが用意されていて、「キャンセル」ボタンを押すとスタート画面に戻り、「前画面に戻る」ボタンを押すと一段階前の操作画面に戻り、操作をやり直すことができる。

【 0 1 3 4 】

「ハガキプリント」の手順がスタートすると、図 4 9 に示すようなサブメニューを表示する案内画面が現われ、「はがきデータ新規作成」又は「F D 読込／フォトプリンタ出力」を選ぶことができる（S 6 0 1）。この時の操作画面には、最上段に「ボタンにタッチして選択して下さい」のメッセージが横書きされ、その下側に、「はがきデータ新規作成」のボタンと「F D 読込／フォトプリンタ出力」のボタンが上下に配列され、最下段には「キャンセル」ボタンと「前画面へ戻る」ボタンが設けられている。

【 0 1 3 5 】

はがきデータ新規作成の手順においては、写真等の画像データを記録メディア又はプリント物から読み取って加工してハガキデータを作成し、フロッピーディスク（F D）に保存することができる。なお、サンプルが 1 枚プリントされて保存 F D に添付される。一方、F D 読込／フォトプリンタ出力の手順においては、

はがきデータ新規作成の手順により作成したハガキデータをFDから読み取ってプリントアウトすることができる。このサブメニュー画面において、いずれかの手順のタッチパネルボタンに手を触れると、対応する手順が選択される。

【0136】

はがきデータ新規作成が選択されると、図13に示すように、画像データの読取り元を列挙した操作画面が表示され、いずれかの読取り元のボタンに触れることにより、対応する読取り元が選択される（S602）。この操作画面において、スマートメディア、CFカード、フロッピーディスク、PCカード、又はCD-ROMいずれかの読取り元を選択すると、選択した記録メディアに対応する挿入方法を示す操作画面（図14～図18）が表示される。操作画面の案内に従って、いずれかの記録メディアを所定の挿入口に挿入し（S603）、タッチパネルの読取開始ボタンに手を触れると、記録メディアを挿入した挿入口がシャッターにより閉鎖され、画像データの読取が開始される（S604）。読取が終了すると、読み取られた全画像のサムネイル画像を一覧表示した操作画面（図示せず）が現われる（S605）。列挙されたサムネイル画像からハガキ作成に使用したい画像を一つだけ選んで触れると、当該画像が選択される（S606）。はがきデータ新規作成におけるS602～S606の手順は、フレーム合成におけるS302～S306と同じである。

【0137】

一方、画像データの読取り元を選択する操作画面（図13）において写真（スキャナ）を読取り元として選択すると（S602）、読取サイズを選択する操作画面（図20）が現れ、写真サイズ又はA5サイズを選ぶことができる（S607）。読取サイズを選択すると、スキャナで原稿を読取る操作画面（図21）が現れる。操作画面に従ってスキャナに原稿をセットし、読取開始のボタンに触れると（S608）、原稿から画像データが読取られる（S609）。はがきデータ新規作成におけるS602及びS607～S609の手順は、フレーム合成におけるS302及びS310～S312と同じである。

【0138】

S606において選択され或いはS609において読取られた画像は、図示し

ない操作画面に表示され（S 6 1 0）、当該操作画面において画像を加工し、ハガキデータを作成することができる（S 6 1 1）。ハガキデータの作成が終了すると、図 5 0 に示すような案内画面が現れ、課金処理が行われる。案内画面の説明に従って請求通り又はそれ以上の金額を投入すると、釣銭放出口から必要に応じて釣銭が放出され、課金処理が完了する（S 6 1 2）。課金処理が完了すると、レシートが発行され、レシート取出し口から放出される（S 6 1 3）。

【 0 1 3 9 】

レシートの発行後、画像データの読取り元である記録メディア又は原稿を取り外すための操作画面（図 2 7 ～図 3 2）が現れ、さらに記録メディアを読取り機に挿入している場合には挿入口のシャッタが開放される（S 6 1 4）。操作画面の説明に従って記録メディア又は原稿を取り外すと、保存用 F D の挿入を要求する操作画面（図示せず）が現れる。この例では、作成したハガキデータを F D にしか保存できないが、本体部を任意に設定して、いかなる記録メディアにハガキデータを保存できるようにしてもよい。操作画面の説明に従って、保存用 F D を挿入し保存開始のボタンに触れると（S 6 1 5）、ハガキデータが F D に保存される（S 6 1 6）。ハガキデータの保存が完了すると、保存用 F D を取り外すための操作画面（図示せず）が現れ、操作画面の説明に従って保存用 F D を取り外すことができる（S 6 1 7）。保存用 F D が取り外されると、サンプルをプリントする案内画面（図示せず）が現われ、サンプルが 1 枚だけ即時プリントされる。サンプルのプリントが終了すると、図 3 4 に示す終了画面が現れる。

【 0 1 4 0 】

ハガキプリントのサブメニューにおいて F D 読込／フォトプリンタ出力が選択されると、ハガキデータ新規作成の手順で作成したハガキデータを保存した F D を挿入する操作画面（図示せず）が現れる（S 6 1 9）。操作画面の説明に従って保存用 F D を読取装置に挿入し、読取開始ボタンに触れると、ハガキデータが読み取られ（S 6 2 0）、読み取られたハガキデータのサムネイル画像を一覧表示する操作画面（図示せず）が現れる（S 6 2 1）。この画面においてプリントアウトしたいハガキのサムネイル画像を一つ又は複数選び、選んだハガキデータそれぞれのプリント枚数を入力すると注文内容が確定する（S 6 2 2）。

【 0 1 4 1 】

注文内容が確定すると、出力方法を選択する操作画面が現れる（S 6 2 3）。注文されたハガキデータが本体部のプリンターでプリント可能な場合には、図 2 4 に示すような操作画面が現われ、即時プリントを行うのか或いはバックヤードプリントを行うのかを顧客が自由に選択することができる。また、注文されたハガキデータが本体部のプリンターでプリントできない場合には、図 5 1 に示すような操作画面が現われ、注文のハガキはバックヤードプリントに振り分けられたことが顧客に伝えられる。

【 0 1 4 2 】

図 2 4 の操作画面において即時プリントのタッチパネルボタンに触れた場合には即時プリントが選択され、S 6 2 4 ～ S 6 2 7 の手順が行われる。そして、即時プリントが完了すると、図 3 4 に示す終了画面が現れる。一方、図 2 4 の操作画面においてバックヤードプリントを選択するタッチパネルボタンに触れた場合、或いは、図 5 1 の操作画面においてバックヤードプリントに振り分けられたことを確認するタッチパネルボタンに触れた場合には、バックヤードプリントが選択され、S 6 2 8 ～ S 6 3 2 の手順が行われる。そして、注文内容のデータがバックヤードプリント部へ送信されると、図 3 4 に示す終了画面が現れ、バックヤードプリント部においてハガキがプリントされる。

【 0 1 4 3 】

出力方法が選択された後の各手順は、デジタルフォトの場合と同じである。すなわち即時プリントの手順（S 6 2 4 ～ S 6 2 7）はデジタルフォトの手順 S 1 1 3 ～ S 1 1 6 と同じであり、バックヤードプリントの手順（S 6 2 8 ～ S 6 3 2 及びデータ送信以降の手順）はデジタルフォトの手順 S 1 1 7 ～ S 1 2 1 及び図 6 の S 2 0 1 ～ S 2 0 5 と同じである。

【 0 1 4 4 】

【発明の効果】

以上に説明したように本発明に係る画像プリントサービスシステムによれば、注文頻度が比較的多い種類のプリント物は本体部に備えられた即時プリント手段でプリントアウトして顧客に納品することができる。一方、即時プリント手段で

は対応できないプリント物、又は、即時プリント手段でも対応できるが能率の悪いプリント物の注文は、顧客の選択により又は画像プリントサービスシステムの管理者による設定によりバックヤードプリント部に回してプリントアウトし、顧客に納品する。従って、本体部が有するポスト型画像出力装置としての手軽さを損なうことなく、バックヤードプリント部によってプリント性能の不足を補うことができ、顧客及び画像プリントサービスシステムの供給者いずれにとっても都合が良い。

【 0 1 4 5 】

本発明によれば、デジタルカメラで撮影し記録メディアに保存した画像データやパソコン等を用いて作成した写真以外の画像データ、或いは、プリントされた写真等の画像や写真以外の画像を、手軽に効率よくプリントアウトできる。そして、大判プリント等の特殊なプリント物や、元の画像を加工した特殊な画像等も手軽にプリントアウトすることができる。

【 0 1 4 6 】

本発明によれば、本体部とバックヤードプリント部とを同一店舗内に設置し、本体部により対応するのが不可能又は能率の悪い注文を、本体部の近くに設置したバックヤードプリント部に引き受けさせることにより、ポスト型画像出力装置の手軽さを最大限に生かすことができる。

【 0 1 4 7 】

本発明によれば、前記本体部と前記バックヤードプリント部をネットワークを介して接続することにより、プリントの注文受付とプリント物の納品を全く離れた場所で行うことができる。

【 0 1 4 8 】

本発明によれば、顧客同一性情報を記載した受付票を顧客に発行することにより、画像プリントサービスシステムの供給者は、バックヤードプリントされたプリント物を、注文した顧客に確実に納品することができる。

【 0 1 4 9 】

顧客に前記受付票を発行すると共に、当該受付票に対応する顧客同一性情報を記載した照合票をバックヤード部においてプリントアウトする場合には、画像プ

プリントサービスシステムの供給者は、顧客の受付票と店舗側の照合票を照合することにより、プリント物を受け取りに来た顧客の同一性を非常に容易に確認することができる。

【 0 1 5 0 】

顧客側から提供されなければ知ることができない個人情報と顧客同一性情報を含め、前記受付票及び前記照合票に記載する場合には、画像プリントサービスシステムの供給者は、プリント物を受け取りに来た顧客の同一性を一層確実に確認することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの概要を示す説明図である。

【図2】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの構成例を示す説明図である。

【図 3】

本発明に係る画像プリントサービスシステムに用いられる本体部の一例を示す斜視図である。

【図 4】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例を示すブロック図である。

【図 5】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、デジタルフォトの手順を示すフローチャートである。

【図 6】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、バックヤード出力部の手順を示すフローチャートである。

【図 7】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、フレーム合成及びシールプリントの手順を示すフローチャートである。

【図 8】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、インデックスプ

プリントの手順を示すフローチャートである。

【図 9】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、証明写真の手順を示すフローチャートである。

【図 1 0】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、ハガキプリントの手順を示すフローチャートである。

【図 1 1】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、スタート画面である。

【図 1 2】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、メインメニュー画面である。

【図 1 3】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、画像データの読取り元を選択する操作画面である。

【図 1 4】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、スマートメディア挿入方法の案内画面である。

【図 1 5】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、コンパクトフラッシュカード挿入方法の案内画面である。

【図 1 6】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、フロッピーディスク挿入方法の案内画面である。

【図 1 7】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、P C カード挿入方法の案内画面である。

【図 1 8】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、CD-ROM挿入方法の案内画面である。

【図 1 9】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、デジタルフォトのために読み取った画像を列挙するサムネイル画像表示画面である。

【図 2 0】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、スキャナの読取りサイズを選択する操作画面である。

【図 2 1】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、スキャナの前稿セット方法を案内する操作画面である。

【図 2 2】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、デジタルフォトのためにスキャナで読取った画像の表示画面である。

【図 2 3】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、デジタルフォトのためにスキャナで読取った画像のプリント枚数を設定する操作画面である。

【図 2 4】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、即時プリント又はバックヤードプリントを選択する操作画面である。

【図 2 5】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、デジタルフォトを行った時に表示される料金支払の案内画面である。

【図 2 6】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、デジタルフォトを行った時に料金の確認を求める案内画面である。

【図 2 7】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、スマートメディア取外し方法の案内画面である。

【図 2 8】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、コンパクトフラッシュカード取外し方法の案内画面である。

【図 2 9】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、フロッピーディスク取外し方法の案内画面である。

【図 3 0】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、PCカード取外し方法の案内画面である。

【図 3 1】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、CD-ROM取外し方法の案内画面である。

【図 3 2】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、スキャナ原稿取外し方法の案内画面である。

【図 3 3】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、即時プリント実行中の案内画面である。

【図 3 4】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、終了画面である。

【図 3 5】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、個人情報（氏名）を入力する操作画面である。

【図 3 6】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、個人情報（電話番号）を入力する操作画面である。

【図 3 7】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、レシート兼受付

票のプリント例である。

【図 3 8】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、店舗側照合票のプリント例である。

【図 3 9】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、フレーム合成及びシールプリントで用いるフレームのサムネイル画像表示画面である。

【図 4 0】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、選択したフレームの拡大表示画面である。

【図 4 1】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、フレーム合成及びシールプリントで用いるために読取った画像を列挙するサムネイル画像表示画面である。

【図 4 2】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、フレーム合成及びシールプリントの合成画像を調整する操作画面である。

【図 4 3】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、インデックスプリントの画像読取り元を選択する操作画面である。

【図 4 4】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、インデックスプリントのプリントイメージを確認する案内画面である。

【図 4 5】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、インデックスプリントの料金支払の案内画面である。

【図 4 6】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、証明写真のプリントタイプを選択する操作画面である。

【図 4 7】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、証明写真の料金支払の案内画面である。

【図 4 8】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、証明写真で用いるために読取った画像を列挙するサムネイル画像表示画面である。

【図 4 9】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、ハガキプリントのサブメニューを選択する操作画面である。

【図 5 0】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、ハガキプリントのハガキデータ作成を行った時に表示される料金支払の案内画面である。

【図 5 1】

本発明に係る画像プリントサービスシステムの一例において、バックヤードプリントの自動選択について同意を求める案内画面である。

【符号の説明】

- 1 … 本体部
- 2 … バックヤード出力部
- 3 … 回線
- 4 … 画像データ入力手段
- 5 … 画像データ
- 6 … 注文内容入力手段
- 7 … 注文内容
- 8 … 出力内容指示データ生成手段
- 9 … 出力内容指示データ
- 10 … 出力方法選択手段
- 11 … 即時プリント手段
- 12 … バックヤードプリント手段
- 13 … サーバ

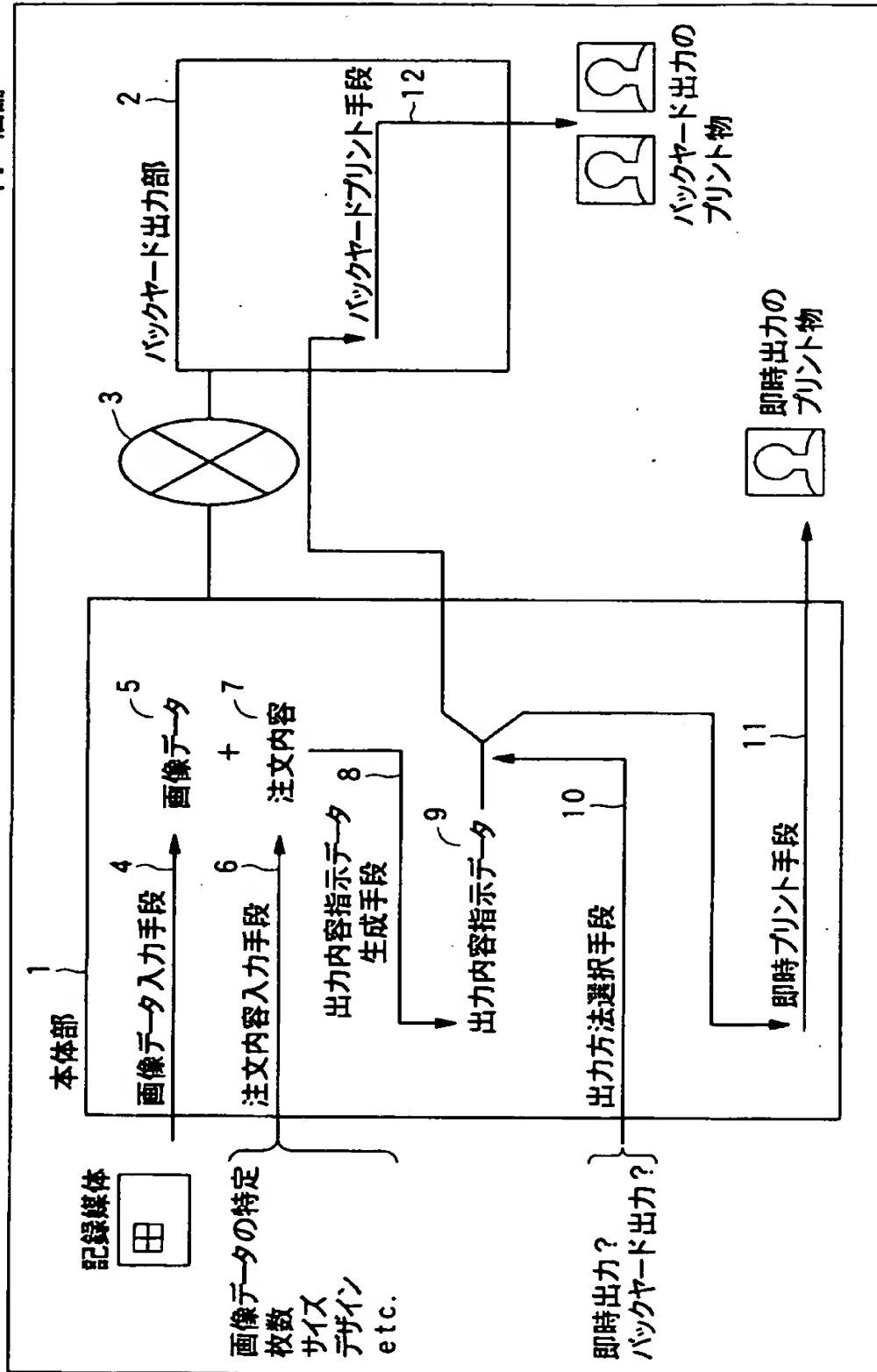
- 1 4 …タッチパネル付きモニタ
- 1 5 …フロッピーディスク挿入口
- 1 6 …CD-ROM挿入口
- 1 7 …PCカード挿入口
- 1 8 …スマートメディア挿入口
- 1 9 …コンパクトフラッシュカード挿入口
- 2 0 …スキャナ
- 2 1 …メンテナンスキー
- 2 2 …スピーカー
- 2 3 …硬貨投入口
- 2 4 …コイン返却バー
- 2 5 …紙幣挿入口
- 2 6 …釣銭返却口
- 2 7 …レシート取出口
- 2 8 …プリント物（標準プリント）取出口
- 2 9 …プリント物（プリカットシール）取出口
- 3 0 …前面ドア開閉キー
- 3 1 …本体部の制御部
- 3 2 …ハードディスク
- 3 3 …CD-ROM読取装置
- 3 4 …画像データ読取装置
- 3 5 …シャッター
- 3 6 …コインメック
- 3 7 …ビルバリ
- 3 8 …レシートジャーナル処理部
- 3 9 …プリンタ
- 4 0 …プリンタ
- 4 1 …本体部の通信制御装置
- 4 2 …本体部のバス

- 4 3 …バックヤードプリント部の制御部
- 4 4 …C D - R O M 読取装置
- 4 5 …プリンタ
- 4 6 …バックヤードプリント部の通信制御装置
- 4 7 …バックヤードプリント部のバス

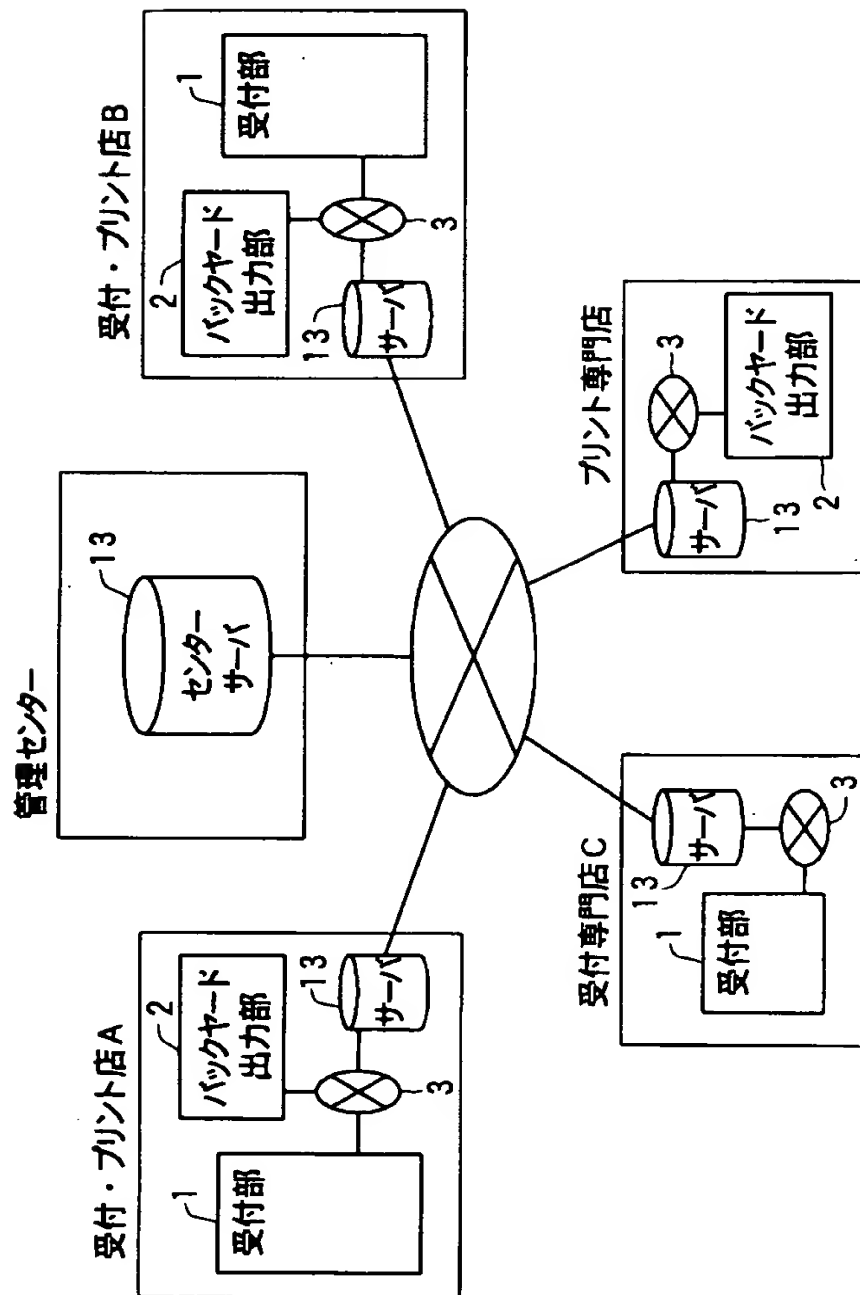
【書類名】 図面

【図 1】

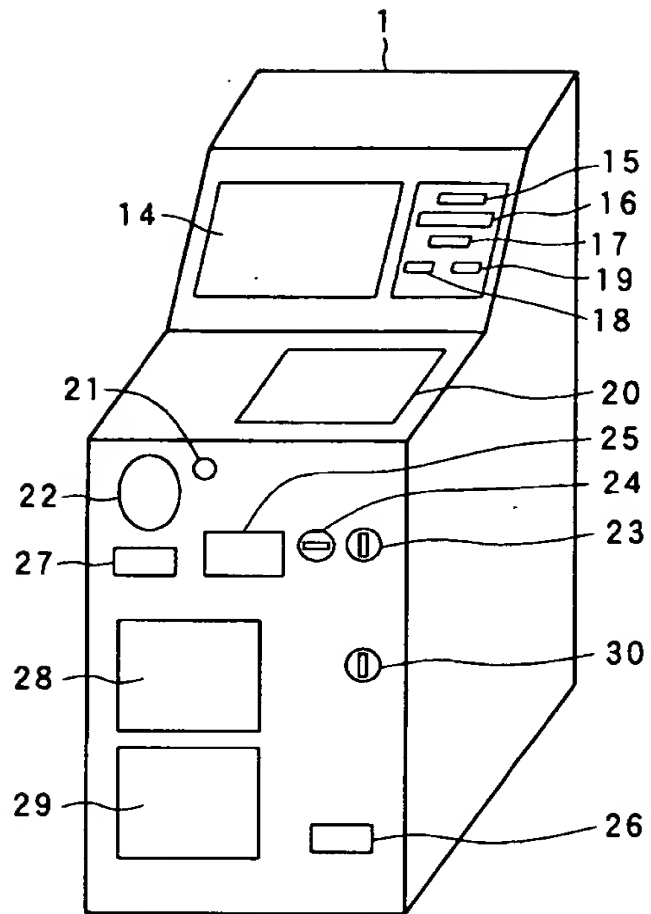
同一店舗



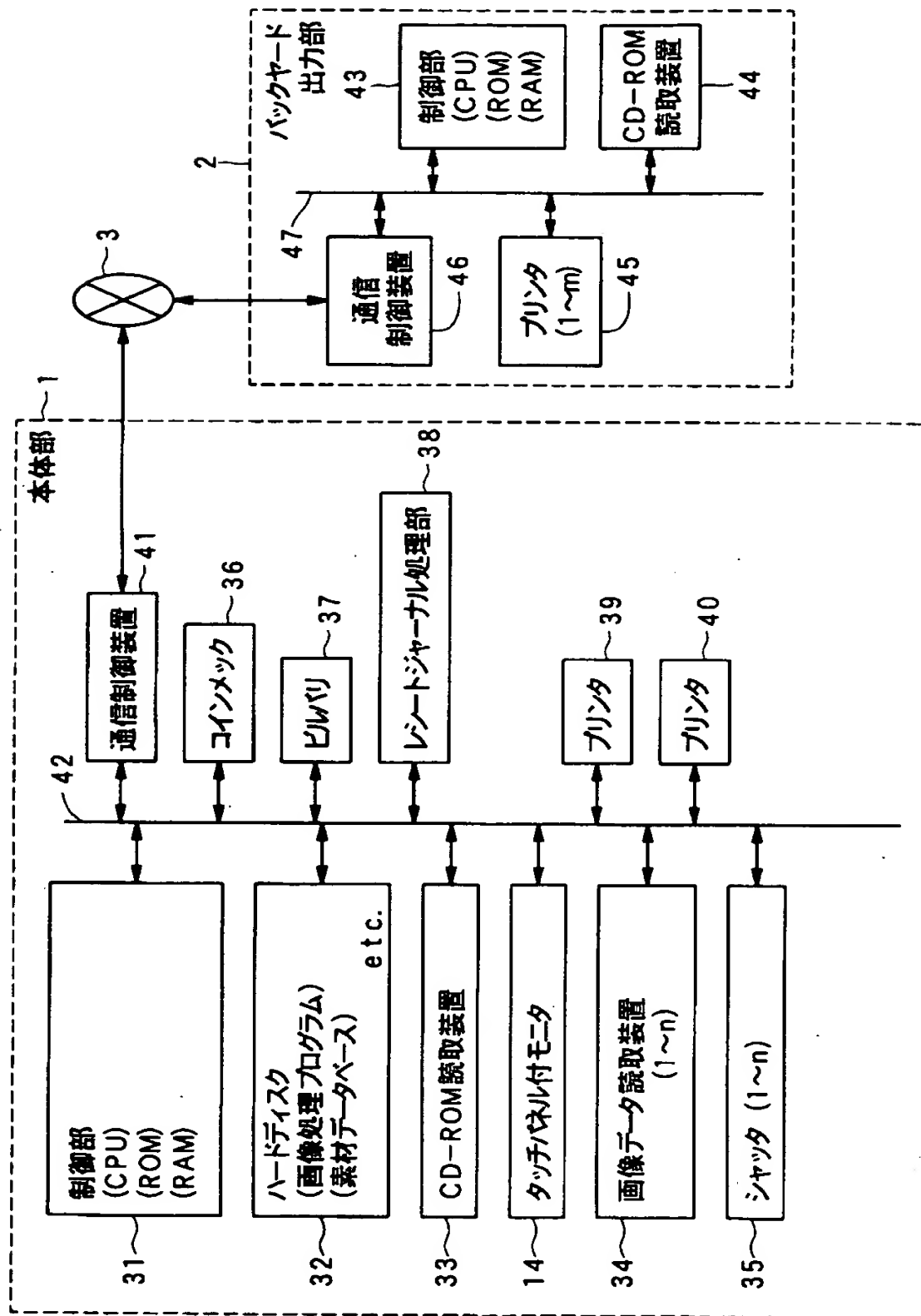
【図2】



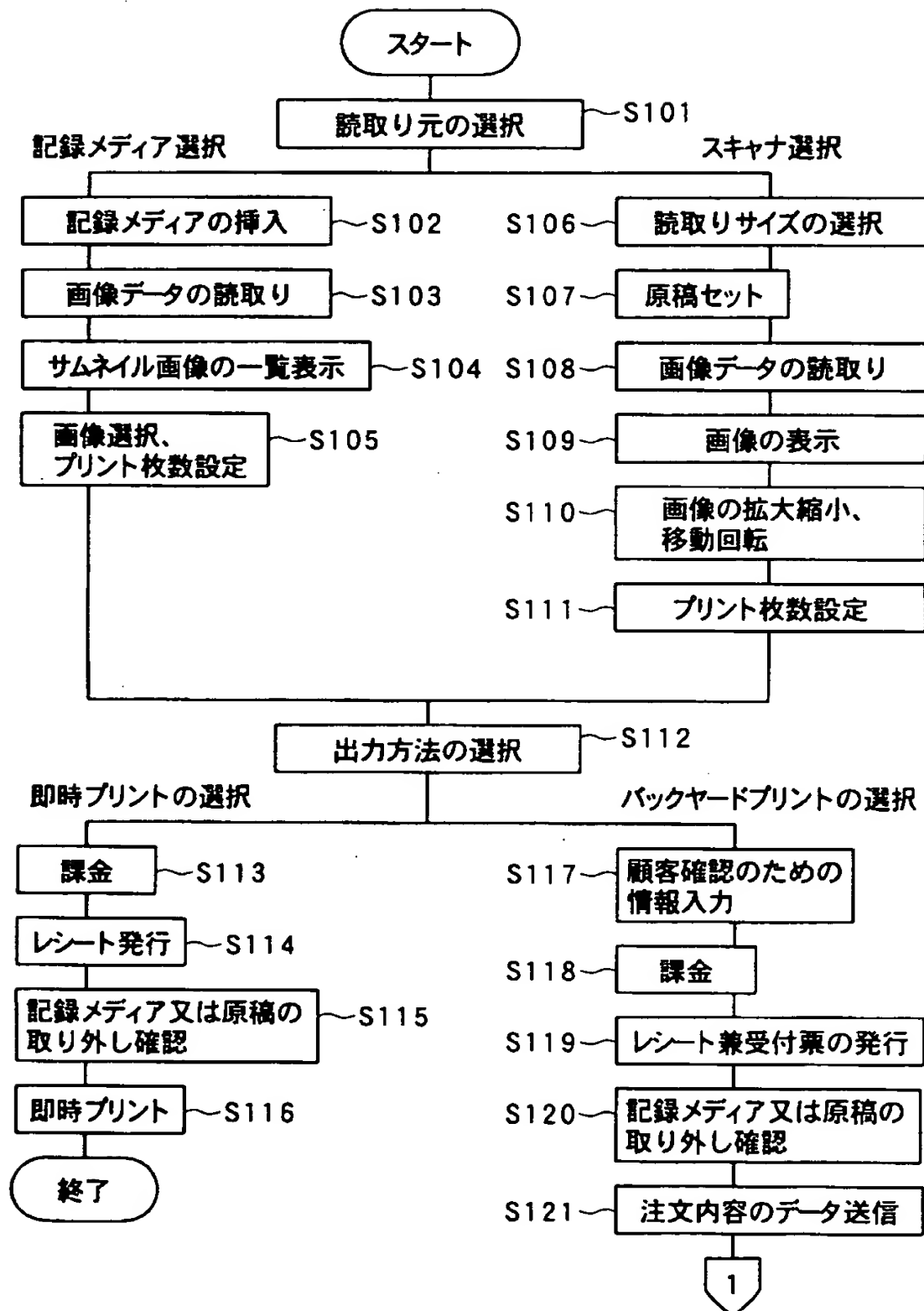
【図3】



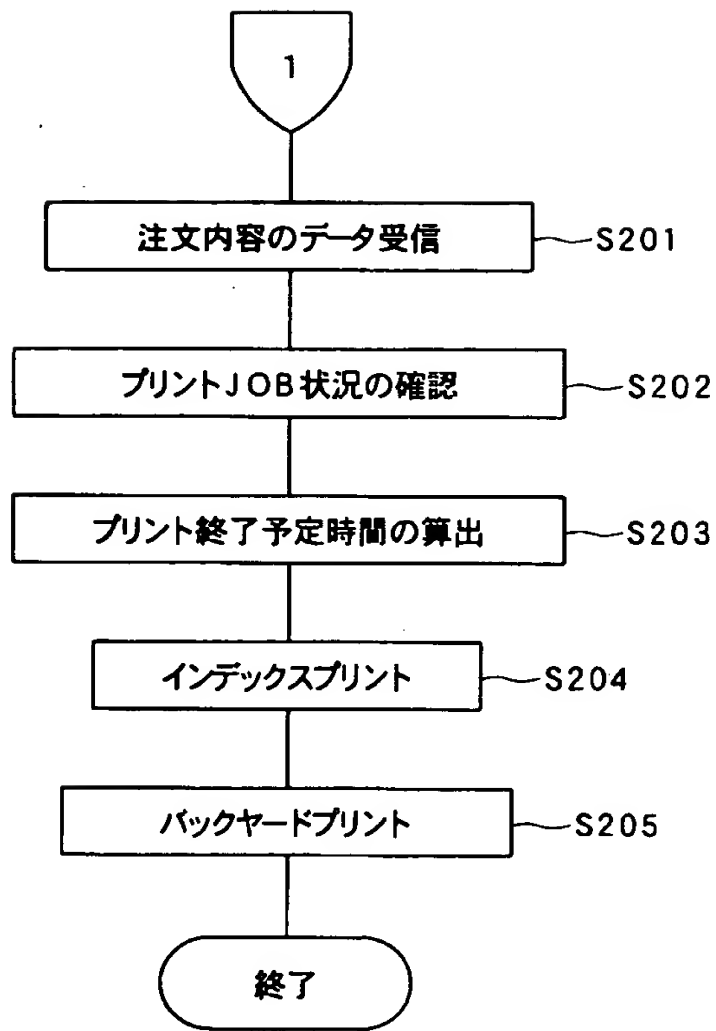
【図 4】



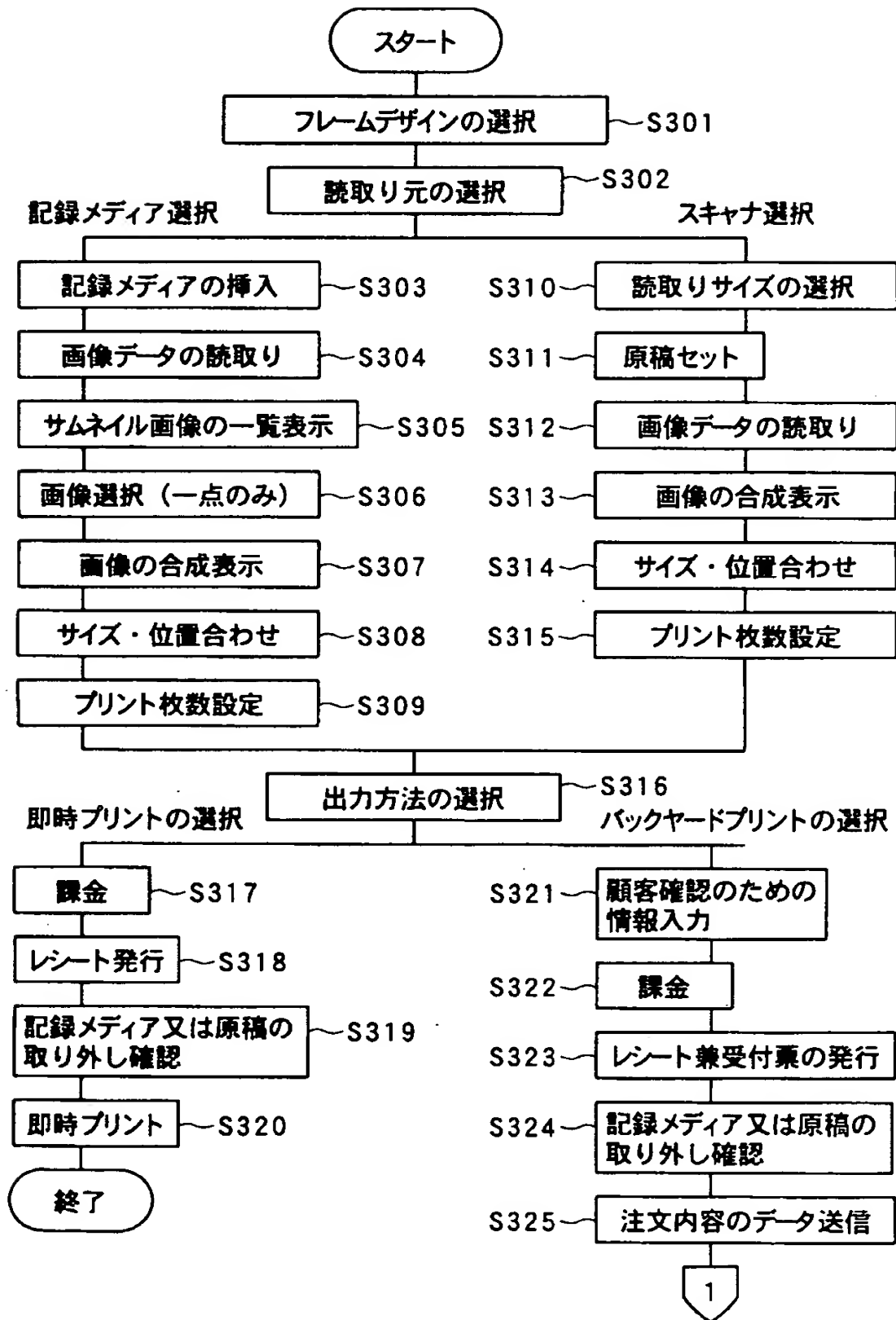
【図 5】



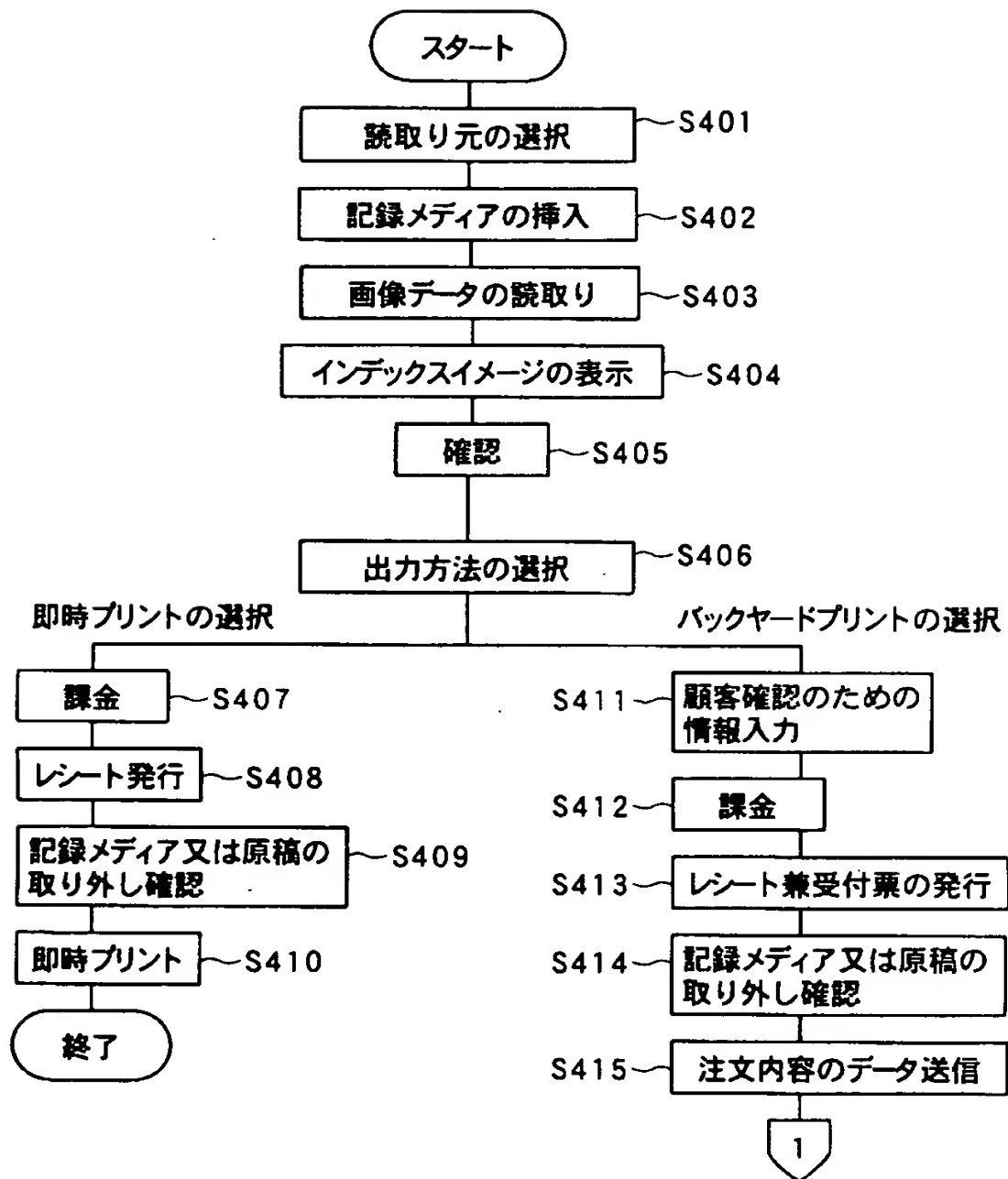
【図 6】



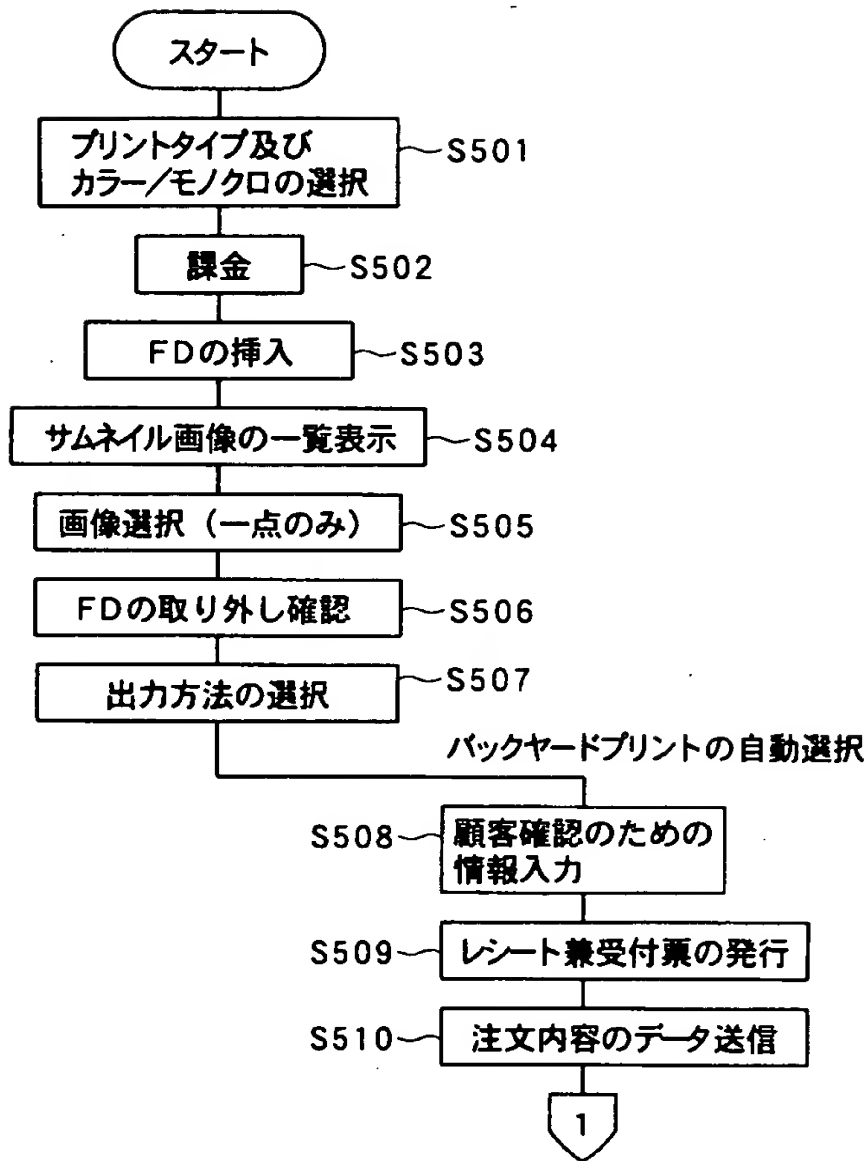
【図 7】



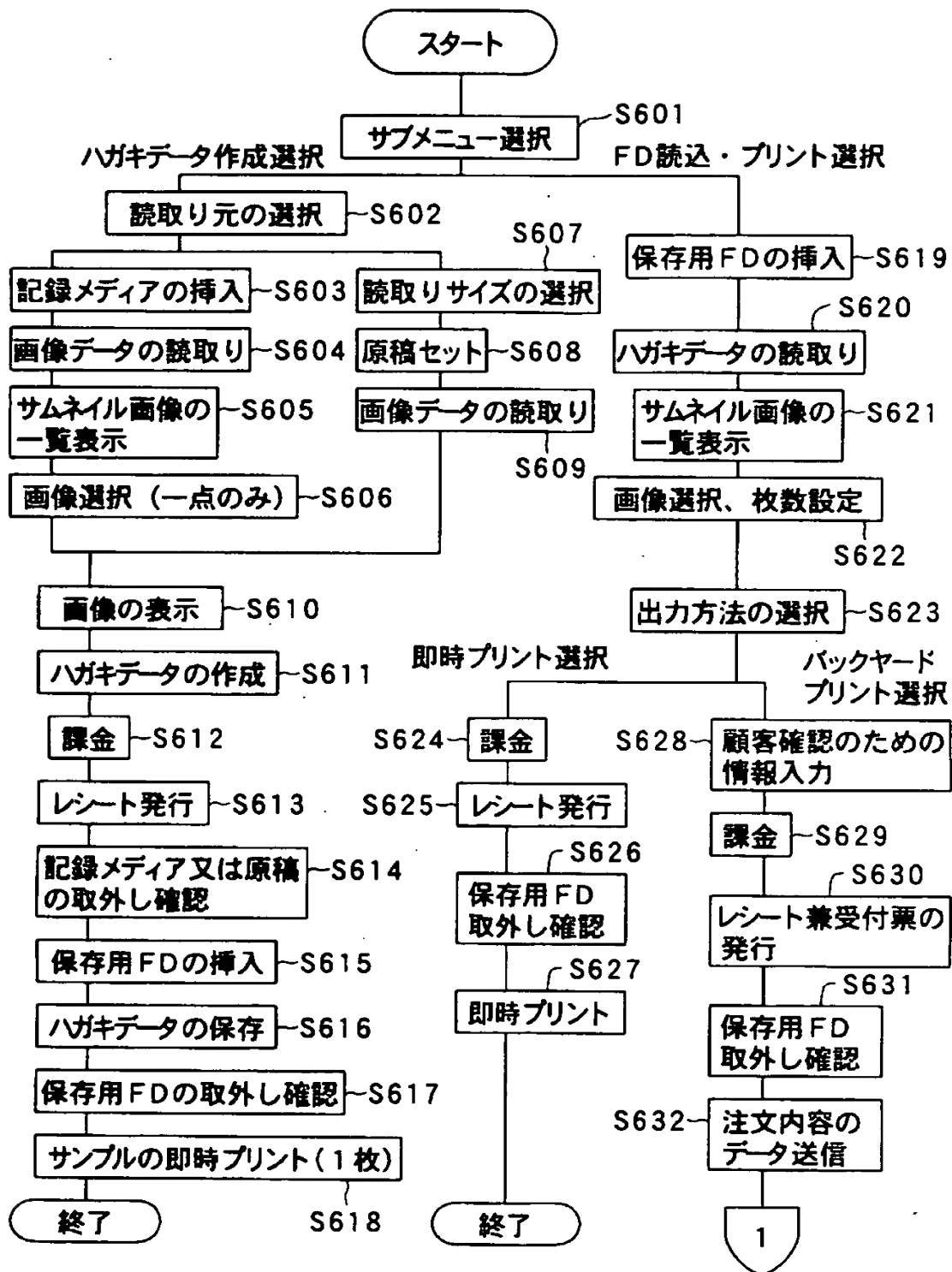
【図 8】



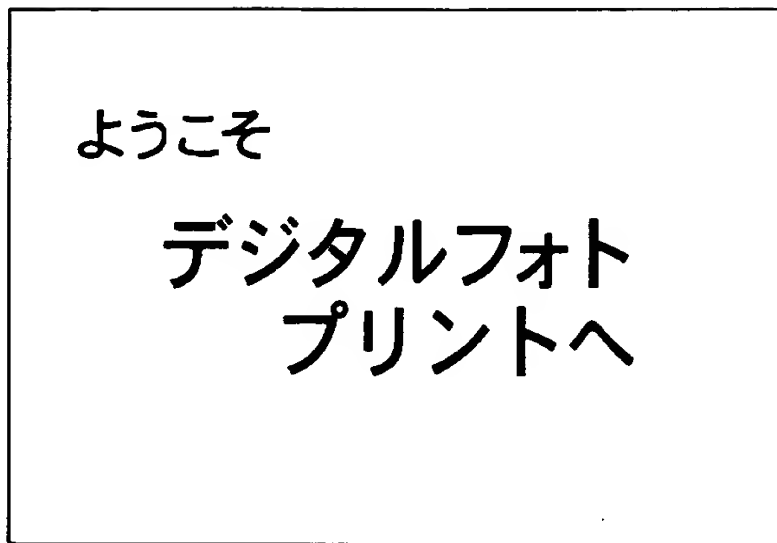
【図 9】



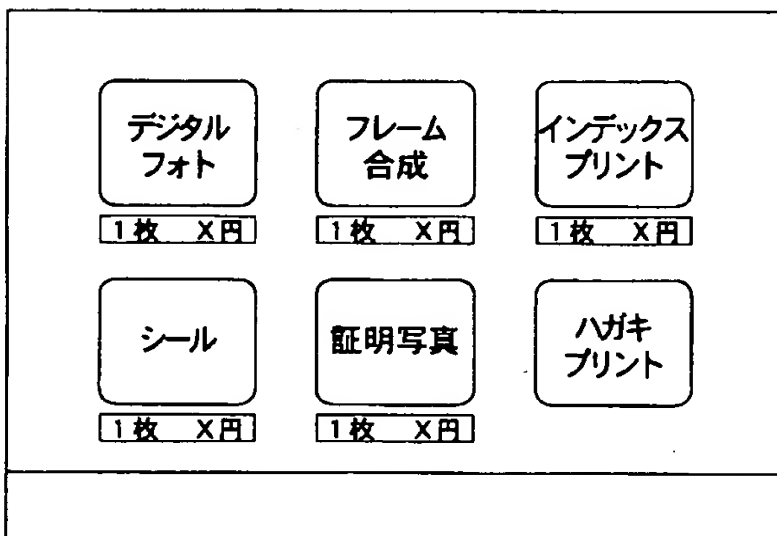
【図10】



【図 1 1】



【図 1 2】



【図 1 3】

入力メディアを下から選んでください

スマート メディア	CFカード	フロッピー ディスク
PCカード	CD-ROM	写真 (スキャナ)

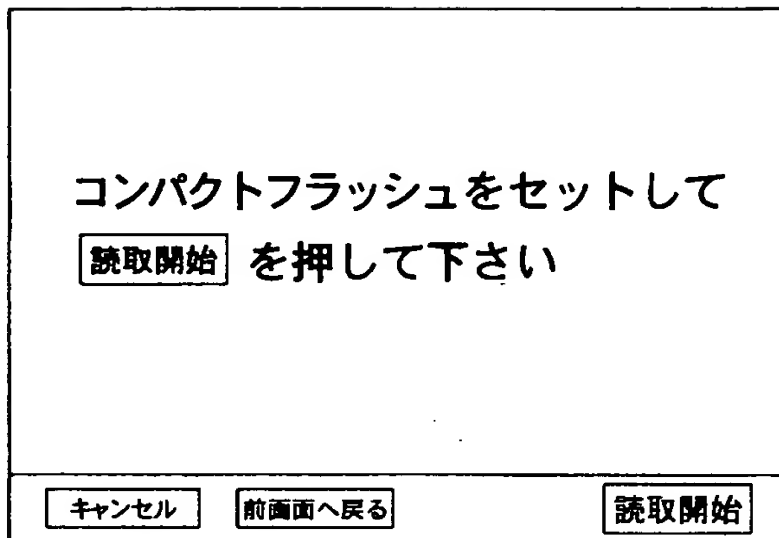
キャンセル 前面面へ戻る

【図 1 4】

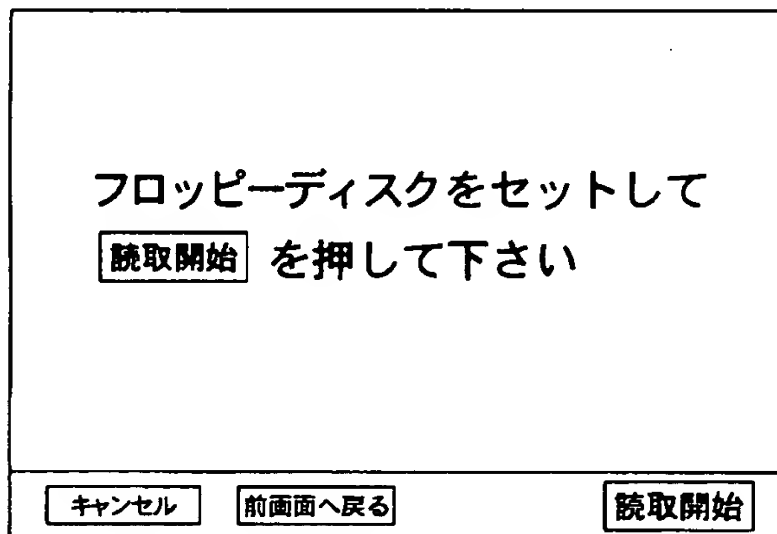
スマートメディアをセットして
読取開始 を押して下さい

キャンセル 前面面へ戻る 読取開始

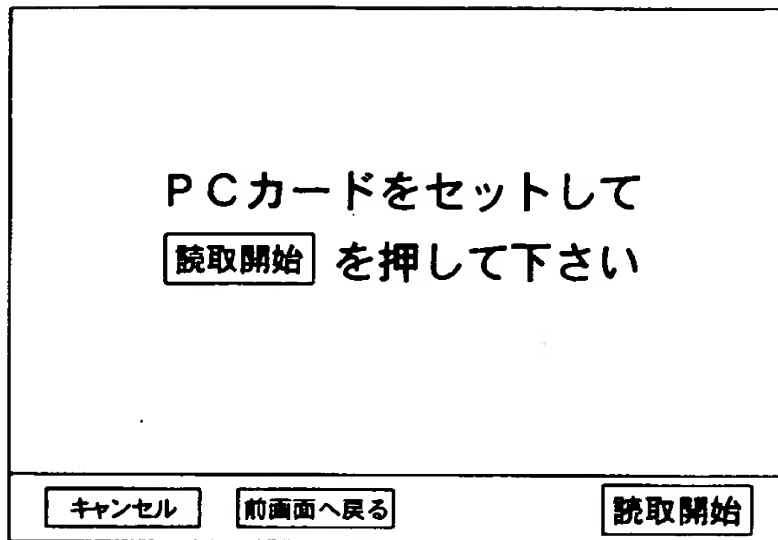
【図 1 5】



【図 1 6】



【図 1 7】









【図 1 8】



【図 1 9】

プリントする画像を選んで、枚数を入れて下さい

		
<input type="text" value="1"/> 枚	<input type="text" value="1"/> 枚	<input type="text" value="1"/> 枚
		
<input type="text" value="1"/> 枚	<input type="text" value="1"/> 枚	<input type="text" value="1"/> 枚

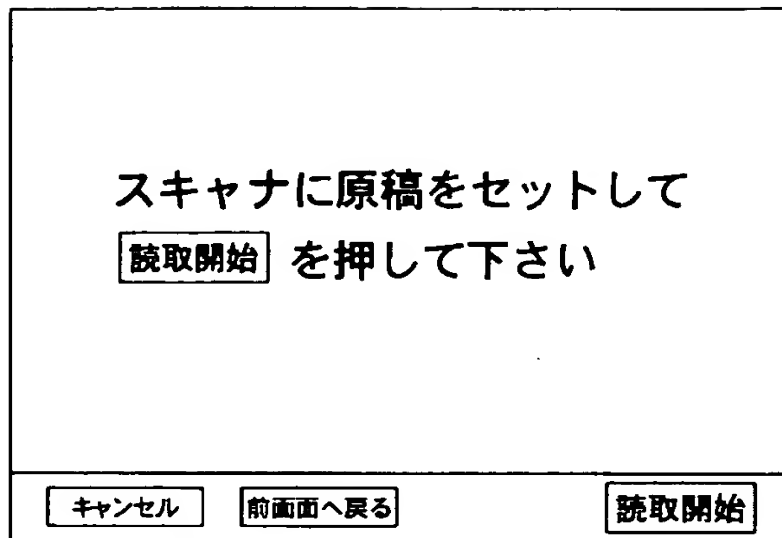
枚数 選択画像
 全面像
 ページ数 /

【図 2 0】

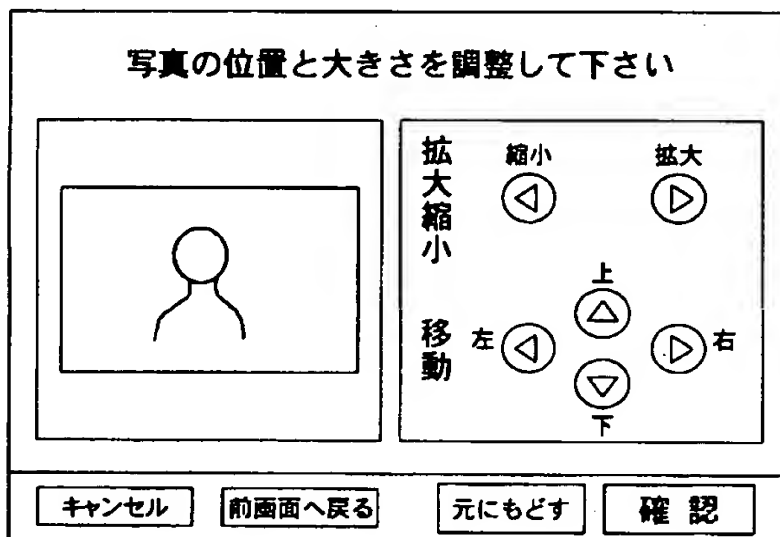
読取りサイズを選んで下さい

<input type="button" value="写真サイズ"/>	<input type="button" value="A6サイズ"/>
--------------------------------------	--------------------------------------

【図 2 1】



【図 2 2】



【図 2 3】

注文枚数を設定して下さい

注文枚数 枚 . . .

▲
▼

キャンセル 前画面へ戻る 決定

【図 2 4】

受取り方法を選んで下さい

プリント終了予定時刻は〇〇 : 〇〇です

即時プリント 後で受取る

キャンセル 前画面へ戻る

【図 2 5】

お金を入れて下さい

注文枚数 枚

1 枚料金 円

合計料金 円

投入料金 円

キャンセル
前面面へ戻る

【図 2 6】

これでよろしければ

確 認 ボタンを押して下さい

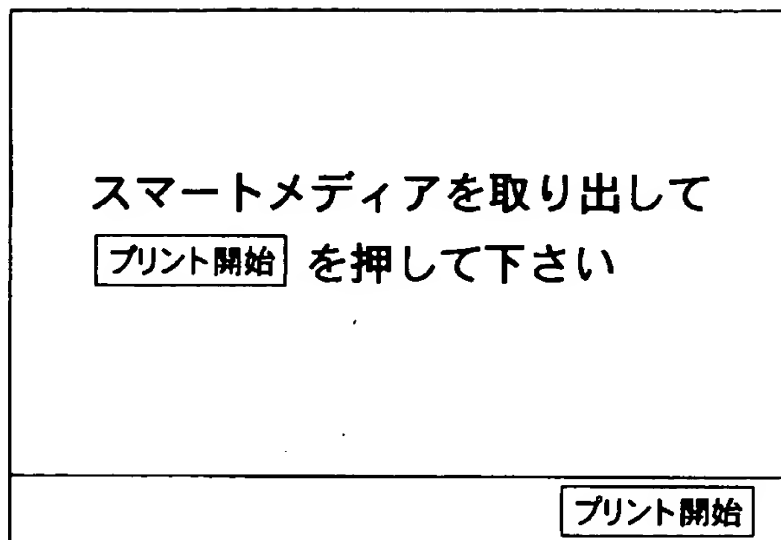
注文枚数 枚

1 枚料金 円

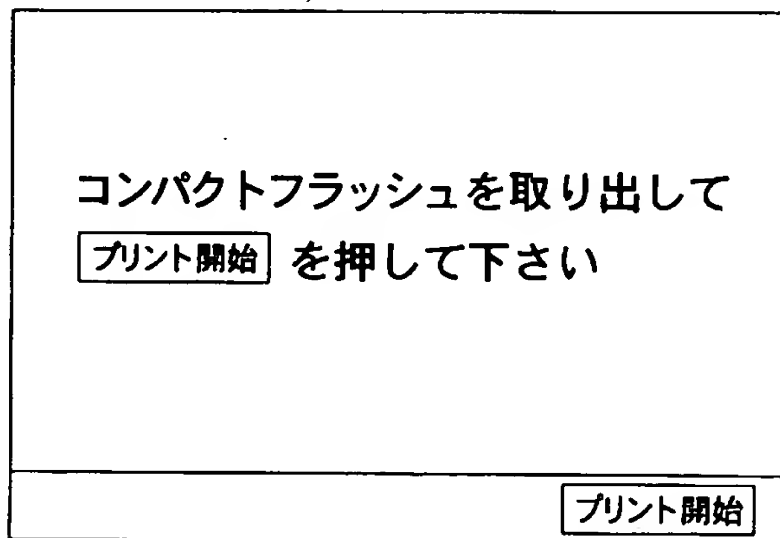
合計料金 円

キャンセル
前面面へ戻る
確 認

【図 2 7】



【図 2 8】



【図 2 9】

A rectangular window with a white background. The text is in black. The main text is centered and reads: "フロッピーディスクを取り出して" followed by a button labeled "プリント開始" and then "を押して下さい". At the bottom right, there is a smaller button labeled "プリント開始".

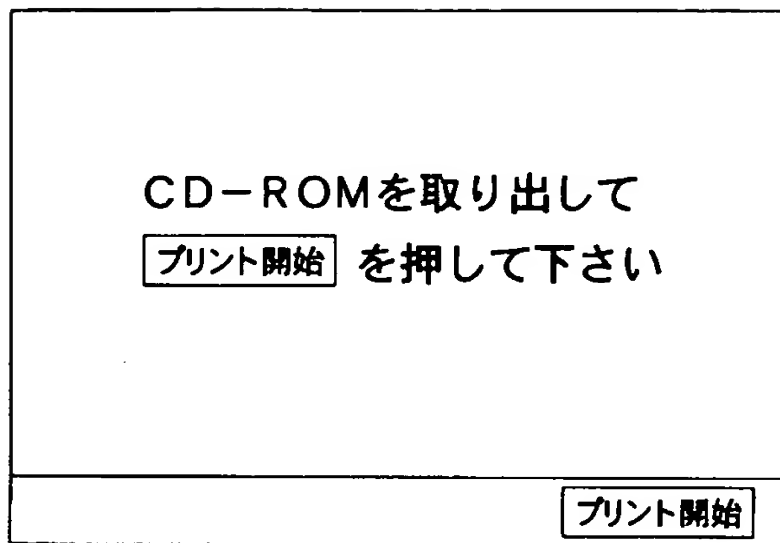
フロッピーディスクを取り出して
 を押して下さい

【図 3 0】

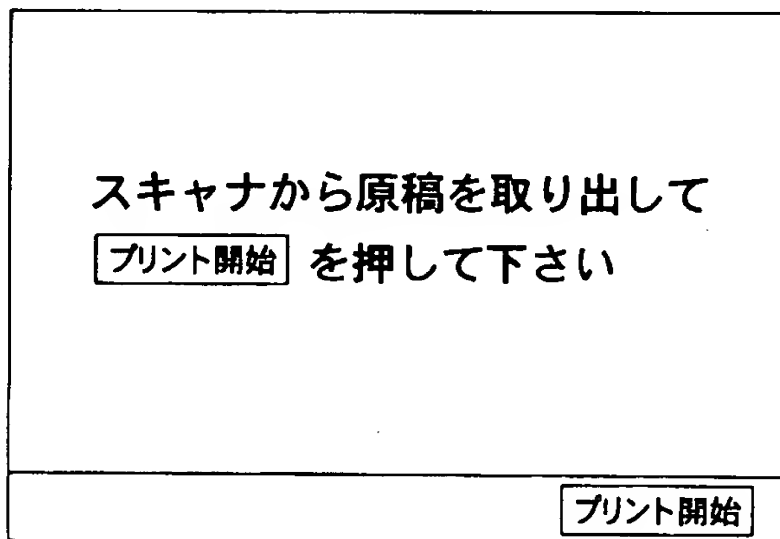
A rectangular window with a white background. The text is in black. The main text is centered and reads: "P Cカードを取り出して" followed by a button labeled "プリント開始" and then "を押して下さい". At the bottom right, there is a smaller button labeled "プリント開始".

P Cカードを取り出して
 を押して下さい

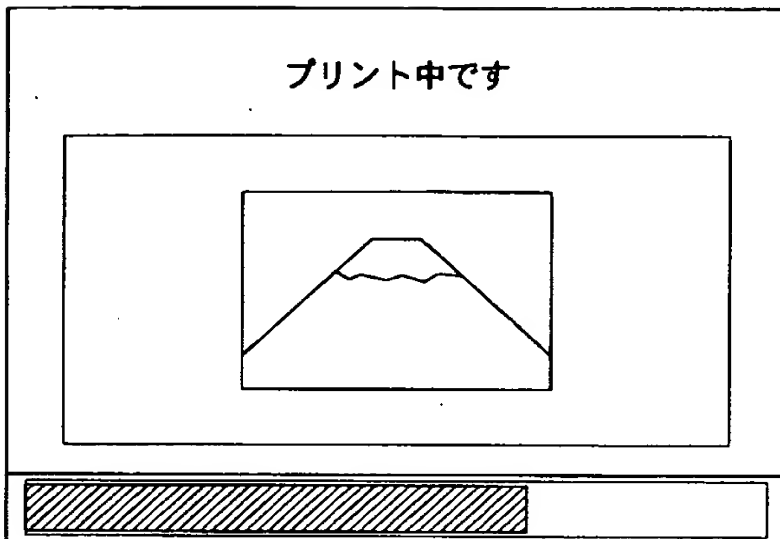
【図 3 1】



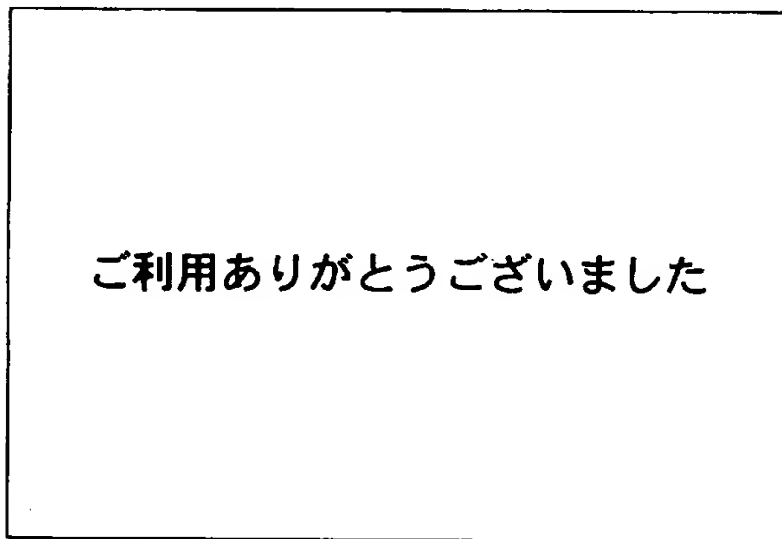
【図 3 2】



【図 3 3】



【図 3 4】



【図35】

お客様のお名前を入力して下さい										
お名前：		ヤマタ								
ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	ワ	°
イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	ユ	リ	ヲ	°
ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ヨ	ル	ン	ー
エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ		レ		
オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ		ロ		
キャンセル		前画面へ戻る				設定終了				

【図36】

お客様の電話番号を入力して下さい										
電話番号：										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	ー
キャンセル		前画面へ戻る				設定終了				

【図 3 7】

○×ストア


--ご注文内容--


受付番号 : 0 0 1 0
 受付日時 : 2000. 3. 11. 10:30
 出来上り : 2000. 3. 11. 12:00


お名前 : ○○○○
 電話番号 : 03-9876-5432


メニュー : デジタルフォト
 コマ数 : 8コマ
 合計枚数 : 20枚
 合計金額 : 1 2 0 0 円

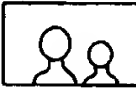
【図 3 8】

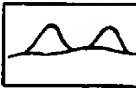





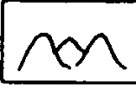






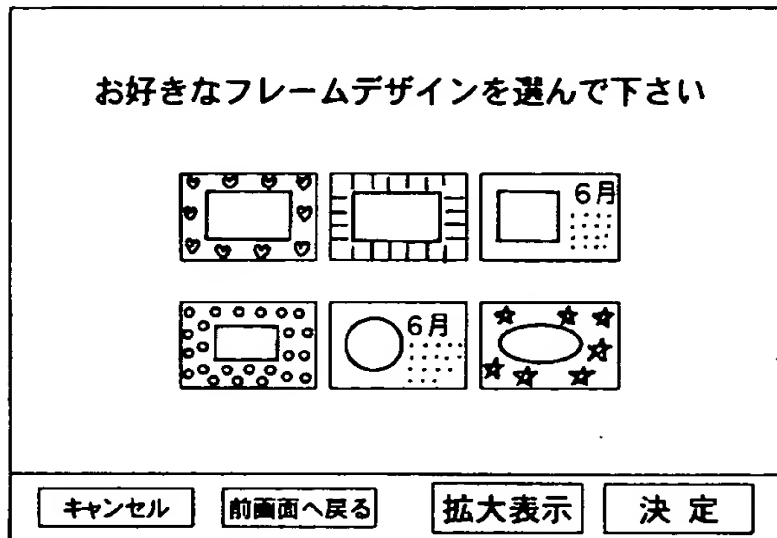




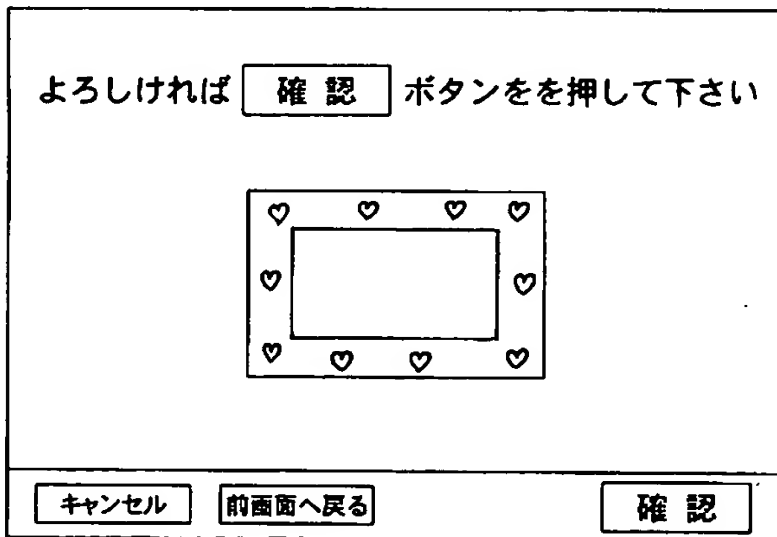


受付番号 : 0010 受付日時 : 2000. 3. 11. 10:30 出来上り : 2000. 3. 11. 12:00
 お名前 : ○○○○ 電話番号 : 03-9876-5432
 メニュー : デジタルフォト コマ数 : 8コマ 合計枚数 : 20枚

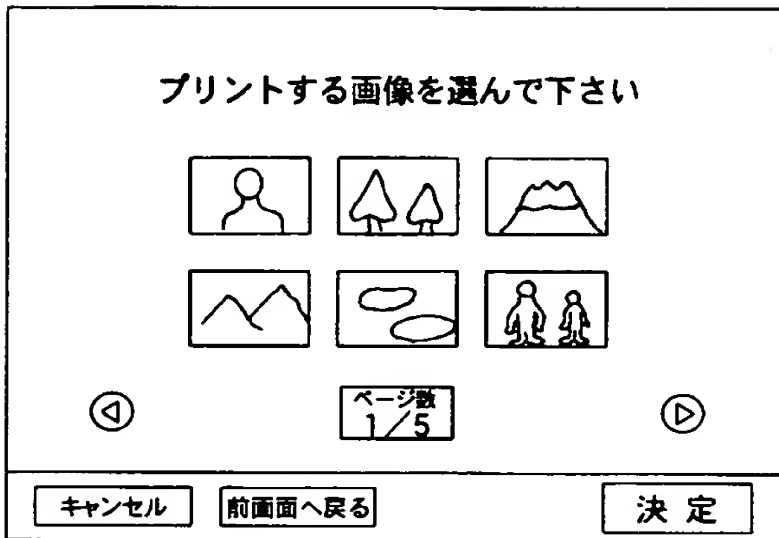
【図 3 9】



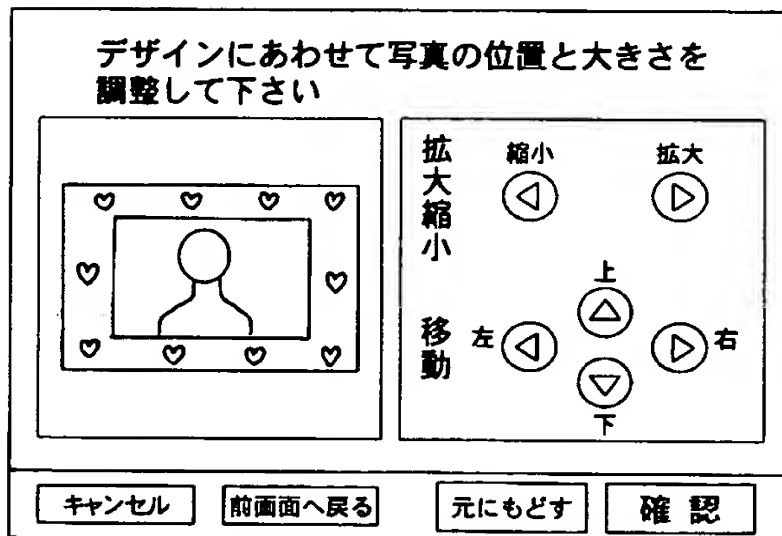
【図 4 0】



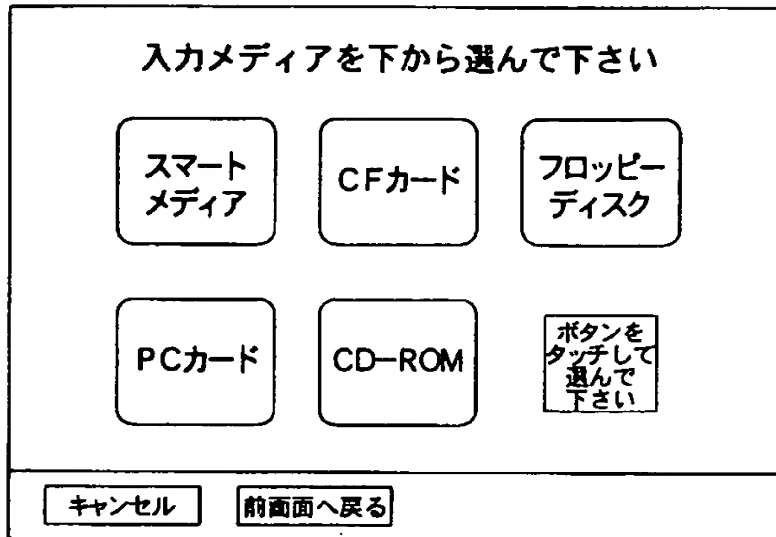
【図 4 1】



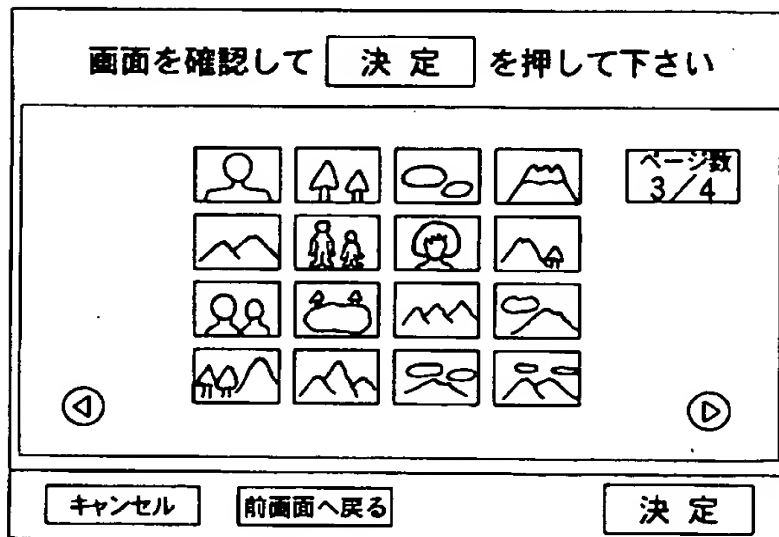
【図 4 2】



【図 4 3】



【図 4 4】



【図 4 5】

お金を入れて下さい	
インデックス枚数	<input type="text" value="2"/> 枚
1枚料金	<input type="text" value="120"/> 円
合計料金	<input type="text" value="240"/> 円
<hr/>	
投入料金	<input type="text" value="0"/> 円
<input type="button" value="キャンセル"/>	<input type="button" value="前面面へ戻る"/>

【図 4 6】

どのサイズでプリントしますか？	
サイズ	<input type="button" value="1"/> <input type="button" value="ピザサイズ"/>
	<input type="button" value="2"/> <input type="button" value="免許証サイズ"/>
	<input type="button" value="3"/> <input type="button" value="履歴書サイズ"/>
	<input type="button" value="4"/> <input type="button" value="パスポートサイズ"/>
色	<input type="button" value="カラー"/> <input type="button" value="モノクロ"/>
<input type="button" value="キャンセル"/>	<input type="button" value="前面面へ戻る"/> <input type="button" value="決定"/>

【図 4 7】




お金を入れて下さい

1 枚料金 円

投入料金 円

【図 4 8】

プリントする画像を選んで下さい



写真を
タッチして
選んで
下さい

【図 4 9】

ボタンにタッチして選択して下さい

はがきデータ新規作成

FD読込／フォトプリンタ出力

キャンセル 前面面へ戻る

【図 5 0】

料金を入れて下さい

合計料金 360 円

投入料金 0 円

キャンセル

【図 5 1】

カウンターにてお受取り下さい

プリント終了予定時刻は〇〇 : 〇〇です

確 認

キャンセル

前画面へ戻る

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 顧客が直接操作して、すぐに写真画像を出力させて持ち帰ることができる画像出力装置の手軽さを損なうことなく、そのプリント性能（例えば、待ち時間、特殊印刷への対応、管理者の作業頻度など）の不足を補う。

【解決手段】 本発明の画像プリントサービスシステムは、回線を介して接続された本体部 1 とバックヤードプリント部 2 を含んでいる。本体部 1 は、画像データ入力手段 4 と、注文内容入力手段 6 と、入力された画像データ 5 と注文内容 7 に基づいて、出力すべき画像や枚数等の注文内容を含む出力内容指示データ 9 を生成する出力内容指示データ生成手段 8 と、即時プリントするかバックヤードプリントするかを選択する出力方法選択手段 10 と、注文した画像を即時プリントする即時プリント手段 11 とを備える。バックヤードプリント部 2 は、注文した画像をバックヤードプリントするバックヤードプリント手段 12 を備える。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000002897]

1. 変更年月日 1990年 8月27日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号
氏 名 大日本印刷株式会社